

BladeSymphony

Virtage Navigator インストール手順書

Revision 3.76

HITACHI

重要なお知らせ

- 本書の内容の一部、または全部を無断で転載、複製することは固くお断わりします。
- 本書の内容について、改良のため予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤りなど、お気づきのことがありましたら、お買い求め先へご一報くださいますようお願いいたします。
- 本書に準じないで本製品を運用した結果については責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 他社ソフトウェアのインストール作業は、お客様責任で行っていただきますようお願いいたします。ただし、弊社が止むを得ないと判断する理由により、お客様から事前の書面によるインストール作業の代行依頼がある場合のみ、弊社が了承することを条件として作業を代行いたします。

登録商標と商標について

Adobe、Adobeのロゴは、Adobe Systems Incorporated(アドビ システムズ社)の米国ならびに他の国における登録商標または商標です。

Microsoft、Windows、Windows Server、および Windows Vistaは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Java、JRE およびその他の Java を含む商標は、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。

その他、本マニュアル中の製品名および会社名は、各社の登録商標または商標です。

著作権について

このマニュアルの内容はすべて著作権に保護されています。

このマニュアルの内容の一部または全部を無断で転載することは禁じられています。

All Rights Reserved, Copyright (C) 2010, 2023 Hitachi, Ltd.

BladeSymphony Virtage Navigator

本資料は、BladeSymphony Virtage Navigator のインストール方法について説明します。

なお、本資料での「」は参照を表しています。

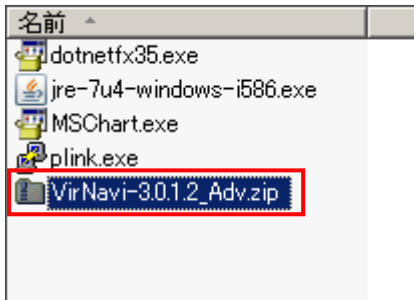
目次

1 Virtage Navigator のインストール	2
2 前提アプリケーションのインストール	3
2.1 Microsoft .NET Framework 3.5 Service Pack 1	4
2.1.1 Windows Server 2016	4
2.1.2 Windows Server 2012、Windows Server 2012 R2	10
2.1.3 Windows Server 2008 R2、Windows Server 2008 R2 SP1	12
2.1.4 Windows 8、Windows 8.1	18
2.1.5 Windows 7、Windows 7 SP1	20
2.1.6 その他の OS	23
2.2 Microsoft Chart Controls for Microsoft .NET Framework 3.5	25
2.3 JRE(Java Runtime Environment)	27
2.3.1 JRE(Java Runtime Environment) 8	27
2.3.2 JRE(Java Runtime Environment) 7	28
2.4 Plink Release 0.67	34
3 インストール後の確認	35
3.1 Windows Server 2012、Windows Server 2012 R2、Windows Server 2016	35
3.2 Windows Server 2008、Windows Server 2008 SP2	37
3.3 Windows Server 2008 R2、Windows Server 2008 R2 SP1	38
3.4 Windows 8、Windows Server 8.1	40
3.5 Windows 7、Windows 7 SP1	42
3.6 その他の OS	44
4 変更来歴	45

1 Virtage Navigator のインストール

PC または管理サーバ上に Virtage Navigator をインストールする手順は、以下のとおりです。

- ・ Virtage Navigator 用の zip ファイルを解凍します。
- ・ zip ファイル名と同じ名称のフォルダ、もしくは VirNavi フォルダが生成されます。



- ・ 解凍された VirNavi フォルダを PC または管理サーバ上の任意のフォルダにコピーしてください。
(解凍した際、zip ファイル名と同じ名称のフォルダが生成された場合、その生成したフォルダ内に含まれる VirNavi フォルダを PC または管理サーバ上の任意のフォルダにコピーしてください。)

なお、VirNavi フォルダのフォルダ構成は、以下のとおりです。

表 1-1 Virtage Navigator フォルダ構成

No.	フォルダ名	備考
1	VirNavi	Virtage Navigator フォルダ
2	AppData	なし
3	bin	Virtage Navigator 実行ファイル (VNavigator.exe) を含むフォルダ
4	FWUpdateFiles	なし
5	HVM	なし
6	BS320	なし
7	BS2000DP	なし
8	BS2000MP	なし
9	mms	なし
10	Regist	(Virtage Navigator のバージョンアップ時には、本フォルダは含まれません)
11	RemotelPARControl	なし
12	modules	なし
13	samples	なし

2 前提アプリケーションのインストール

Virtage Navigator を使用するためには、以下の前提アプリケーションをインストールする必要があります。
前提アプリケーションの入手方法は、「Virtage Navigator ユーザーズガイド 導入編」をご覧ください。

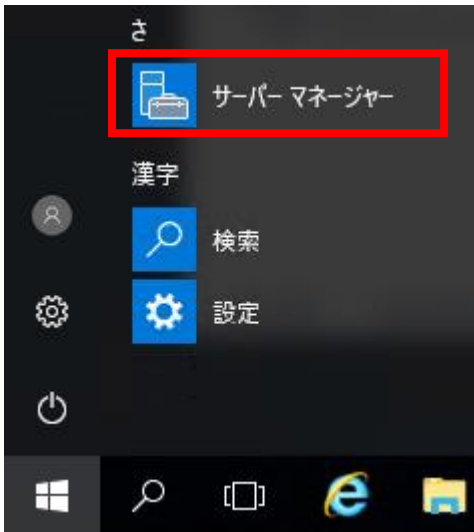
表 2-1 前提アプリケーション一覧

No.	前提アプリケーション	備考
1	Microsoft .NET Framework 3.5 Service Pack 1	なし
2	Microsoft Chart Controls for Microsoft .NET Framework 3.5	なし
3	JRE (Java Runtime Environment) 8	<ul style="list-style-type: none">・スタンドアロン環境で使用する場合は必要ありません・JRE (Java Runtime Environment) 7 をインストール済みの場合は、本アプリケーションをインストールする必要はありませんが、JRE 8 を推奨します。
	JRE (Java Runtime Environment) 7	<ul style="list-style-type: none">・スタンドアロン環境で使用する場合は必要ありません・JRE (Java Runtime Environment) 8 をインストール済みの場合は、本アプリケーションをインストールする必要はありません。・Windows 64 ビット版を使用して LPAR マイグレーションを行う場合、JRE (Java Runtime Environment) 32 ビット版と 64 ビット版をインストールし、環境変数に JRE (Java Runtime Environment) 32 ビット版をインストールしたフォルダのパスを設定する必要があります。
4	Plink Release 0.67	スタンドアロン環境で使用する場合は必要ありません

2.1 Microsoft .NET Framework 3.5 Service Pack 1

2.1.1 Windows Server 2016

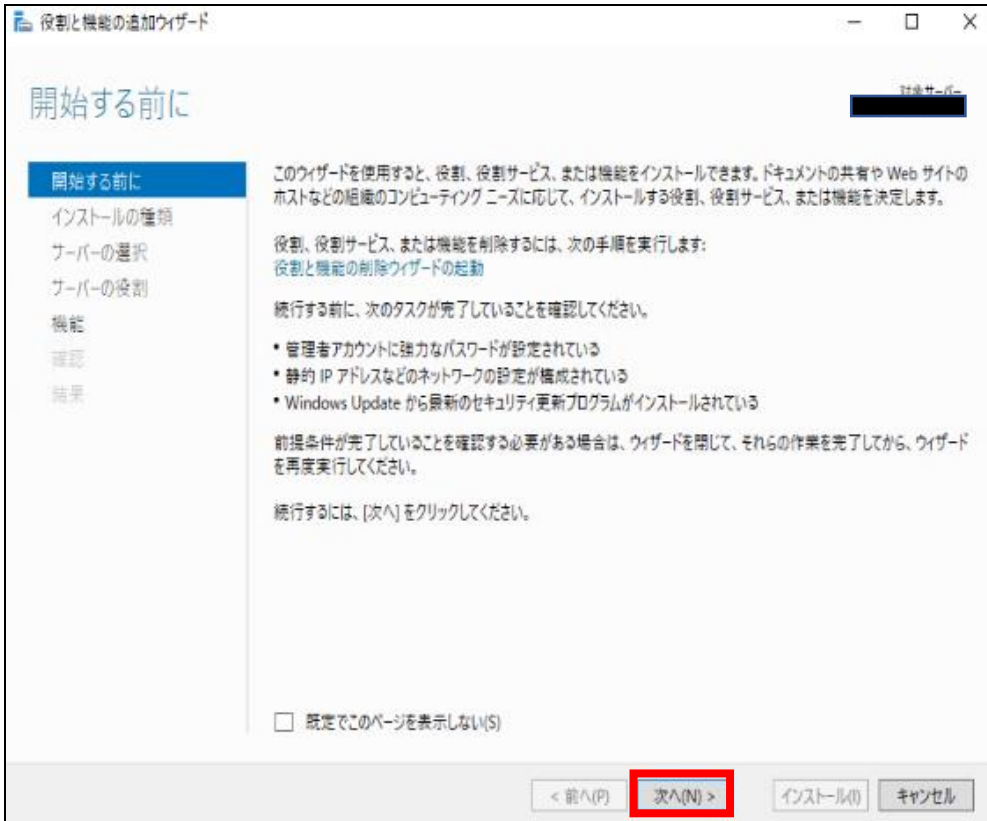
- ・スタートメニュー → サーバーマネージャーをクリックします。



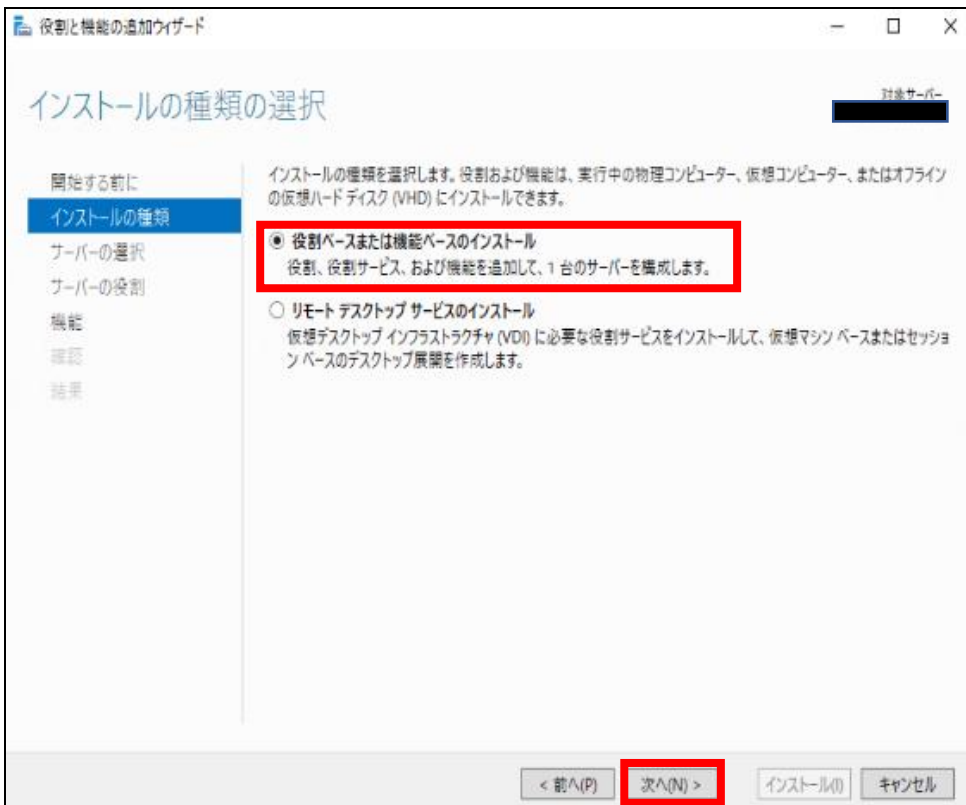
- ・サーバーマネージャーで、[管理]をクリックし、[役割と機能の追加]を選択して、役割と機能の追加ウィザードを開始します。



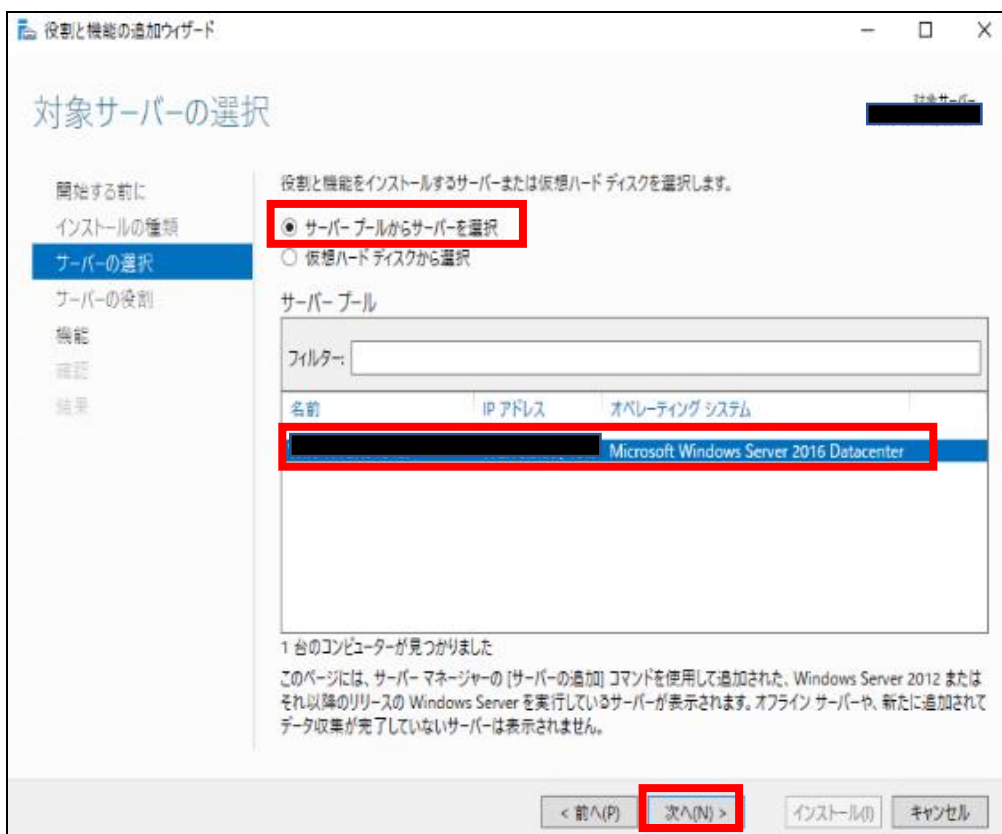
- ・ 役割と機能の追加ウィザード「開始する前に」画面で 次へ(N) をクリックします。



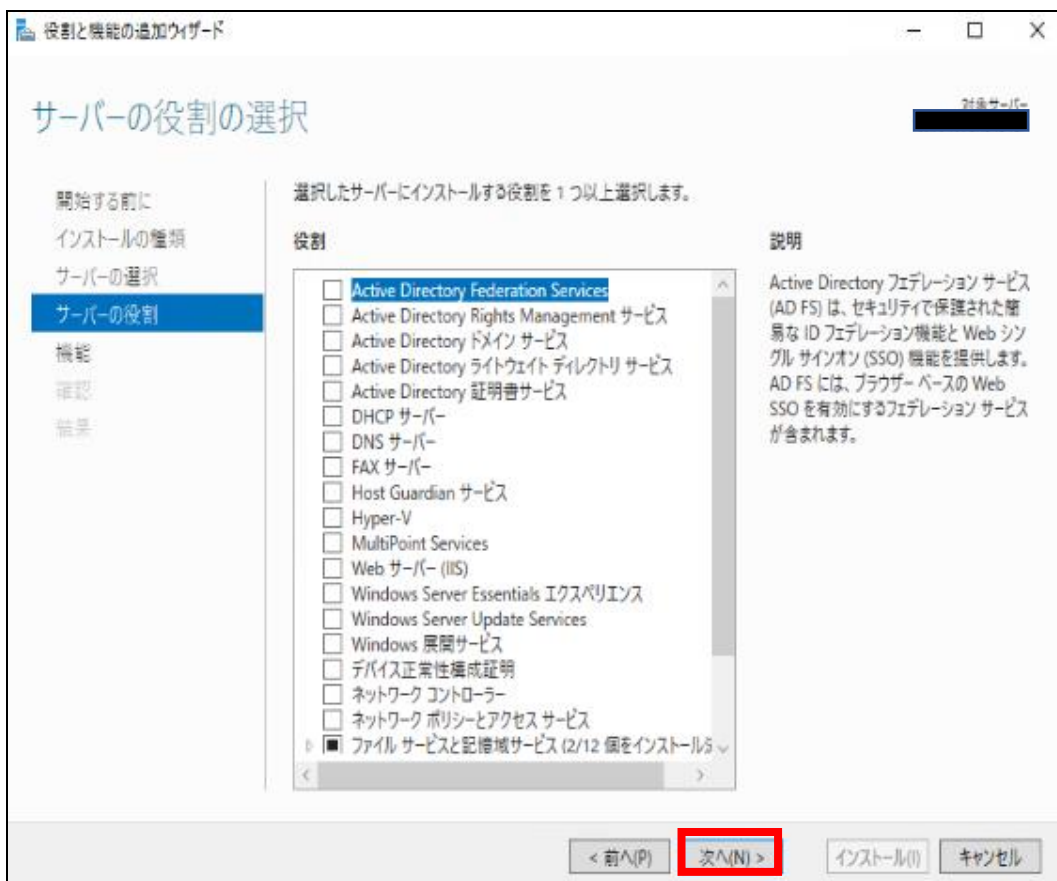
- ・ 役割と機能の追加ウィザード「インストールの種類を選択」画面で「役割ベースまたは機能ベースのインストール」を選択した後 次へ(N) をクリックします。



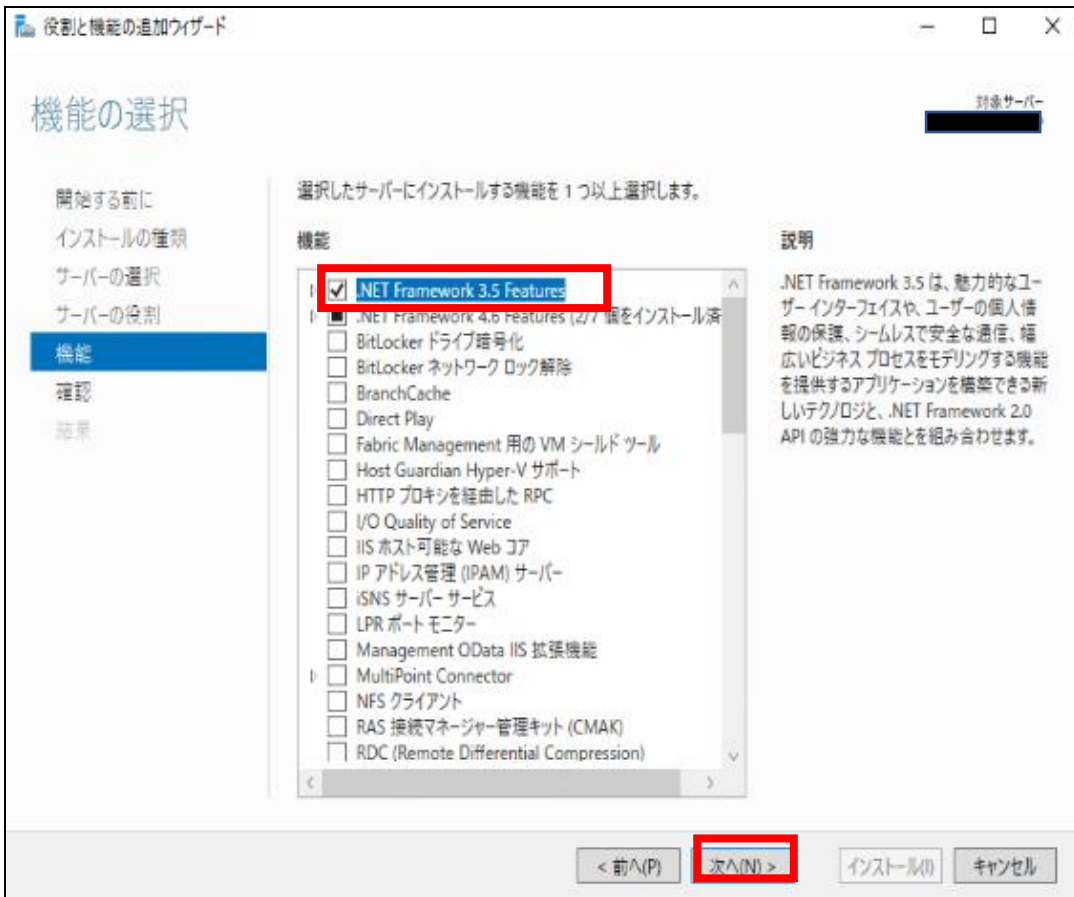
- ・ 役割と機能の追加ウィザード「対象サーバーの選択」画面でインストール対象サーバーを選択した後、次へ(N) をクリックします。



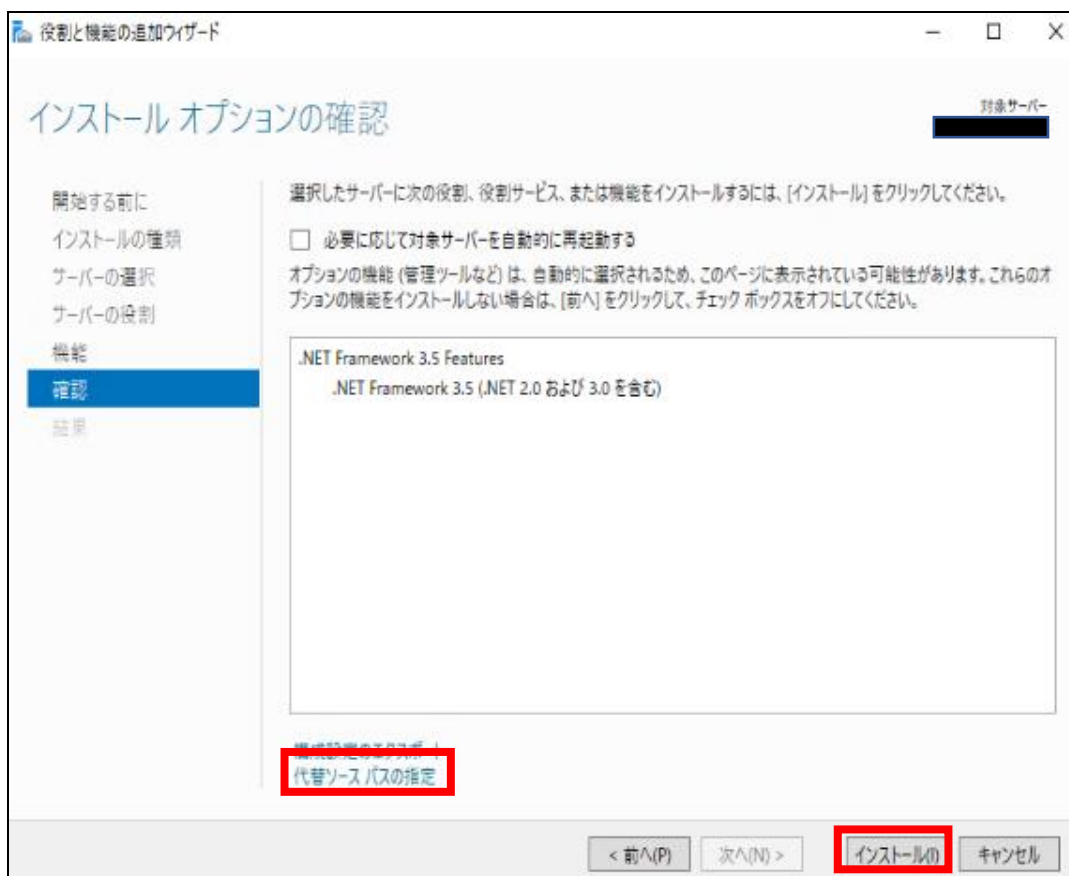
- ・ 役割と機能の追加ウィザード「サーバーの役割の選択」画面で何も選ばずに、次へ(N) をクリックします。



- ・ 役割と機能の追加ウィザード「機能の選択」画面で「.NET Framework 3.5 Features」のチェックボックスにチェックをつけて、次へ(N)をクリックします。

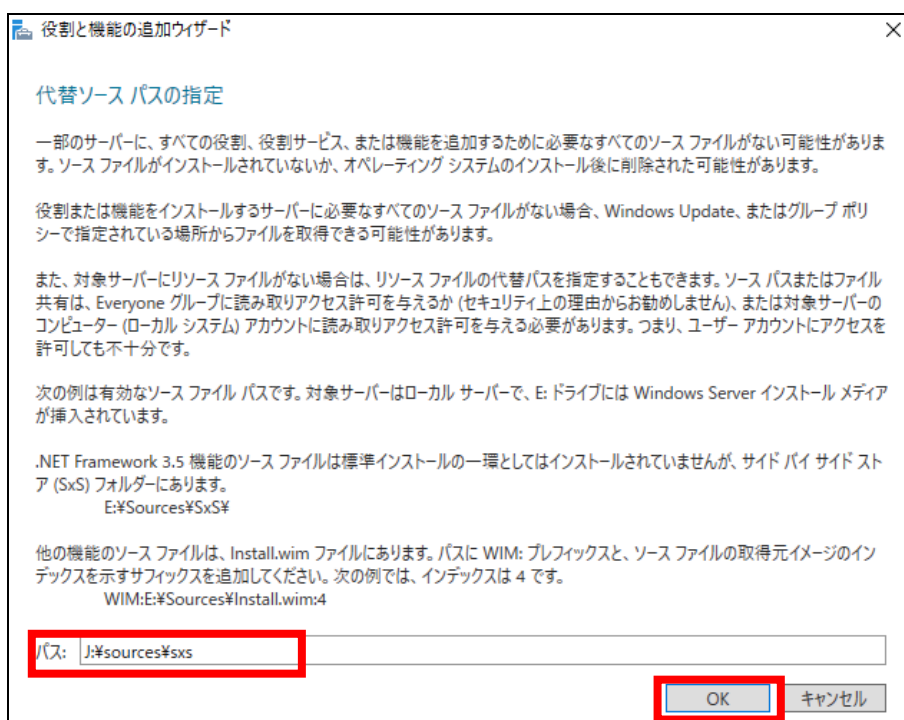


- ・ 役割と機能の追加ウィザード「インストールオプションの確認」画面で インストール(I) をクリックします。
- ※ Windows Update にアクセスできない場合は、「代替ソース パスの指定」をクリックして、インストールメディアの %sources%xsx フォルダへのパスを指定してください。

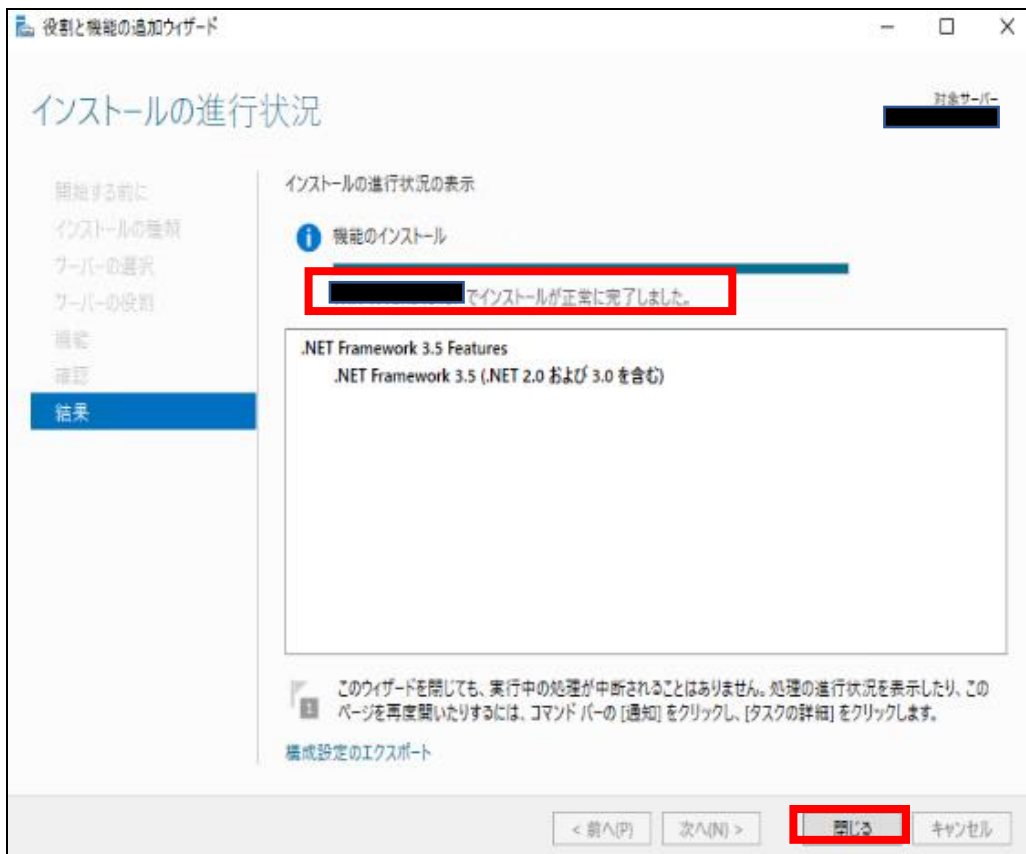


参考) インストールメディアを挿入した CD/DVD ドライブが J ドライブの場合を例としたパスの指定を記載します。

パス: J:%sources%xsx



- ・ 役割と機能の追加ウィザード「インストールの進行状況」画面で正常に完了したことを確認し、閉じる をクリックします。



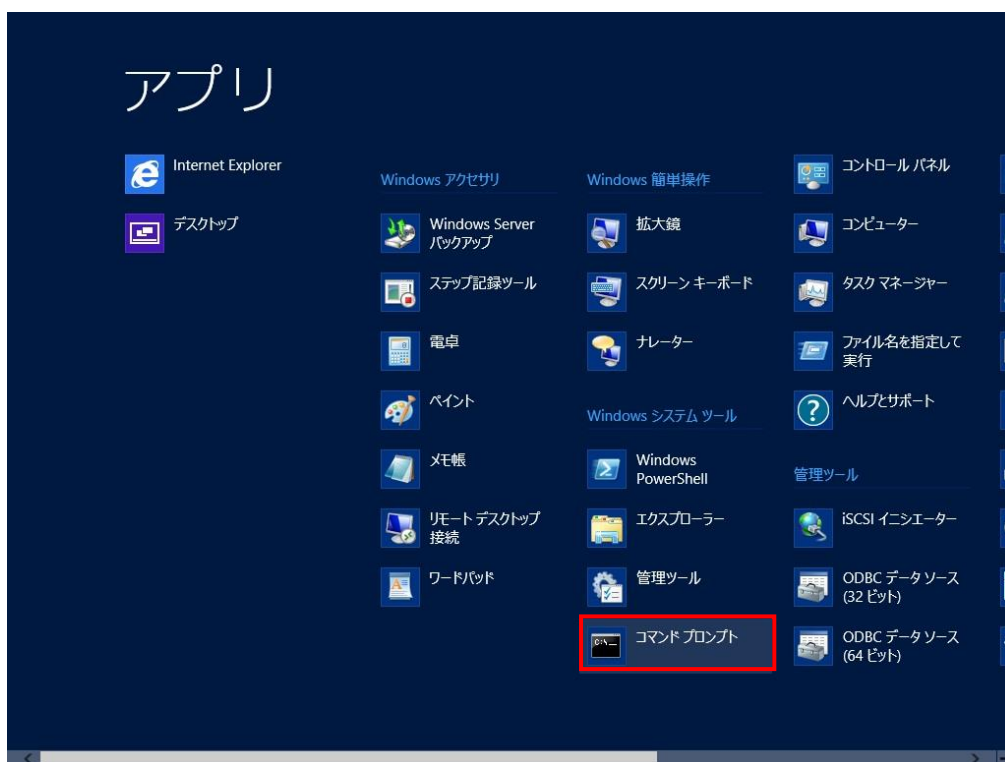
2.1.2 Windows Server 2012、Windows Server 2012 R2



2013年12月現在、コントロールパネルのWindowsの機能ウィンドウでMicrosoft .NET Framework 3.5.1にチェックをつけても、Microsoft .NET Framework 3.5 Service Pack 1はインストールできません。

Windows Server 2012 をご使用の場合は、Microsoft .NET Framework 3.5 Service Pack 1 を以下のとおりインストールメディアを使用し実施します。

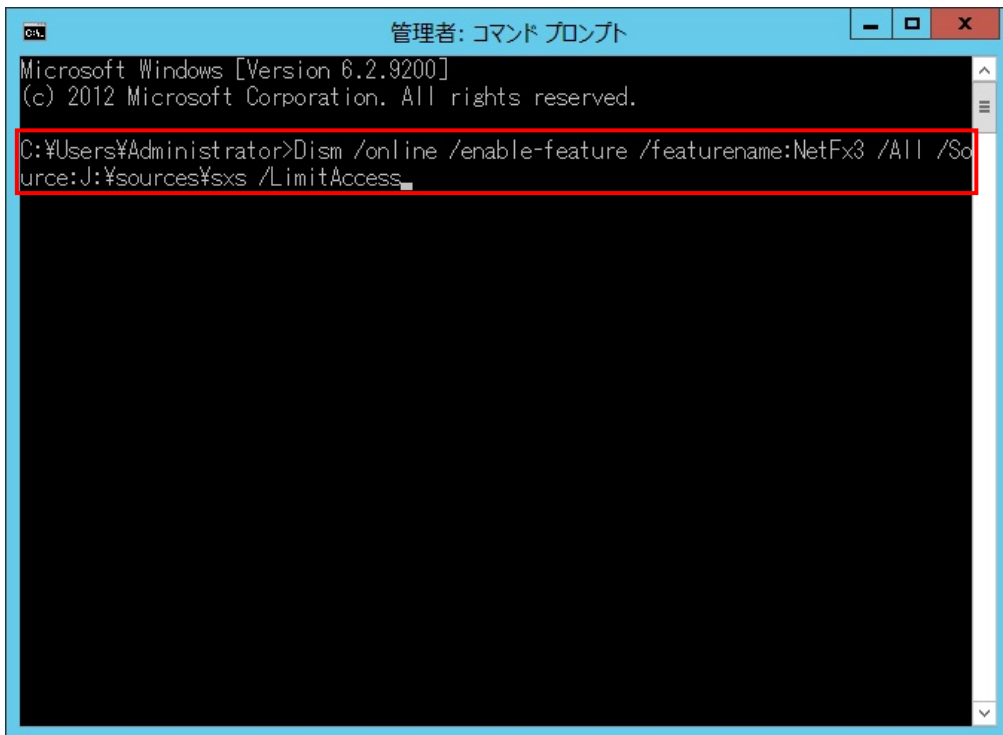
- ・ 管理者権限のユーザでコマンドプロンプトを起動します。



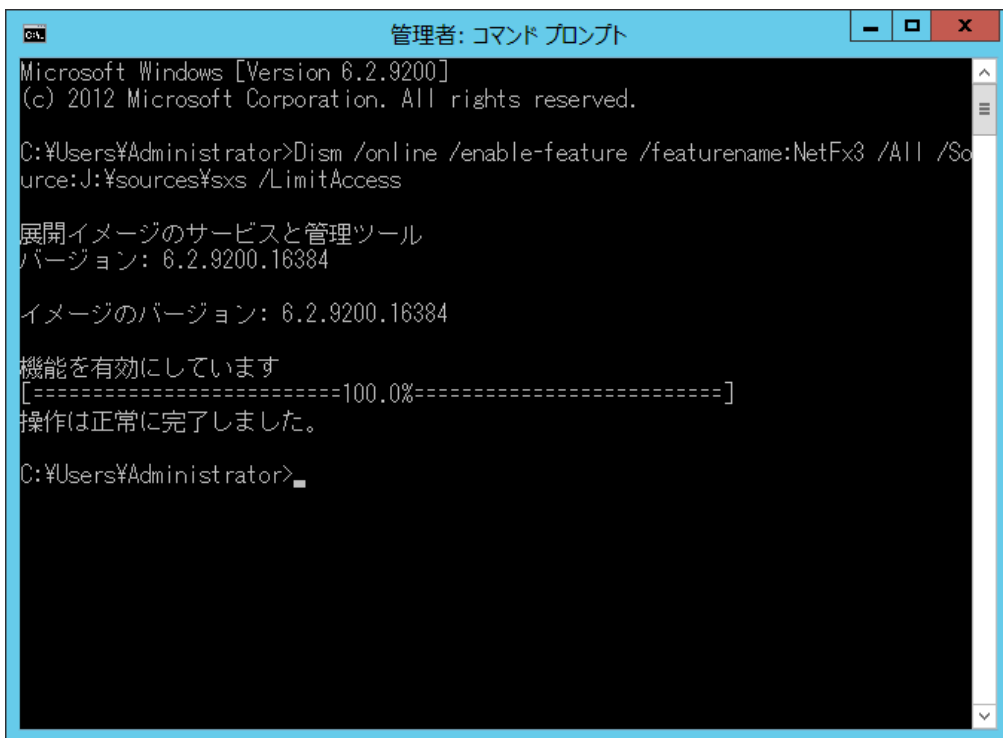
- ・以下のコマンドを実行します。

Dism /online /enable-feature /featurename:NetFx3 /All /Source:x:\sources\sxs /LimitAccess
(赤枠内の x:CD/DVD ドライブの文字を入力します。)

ここでは、CD/DVD ドライブが J ドライブの場合を例としたコマンドを記載します。

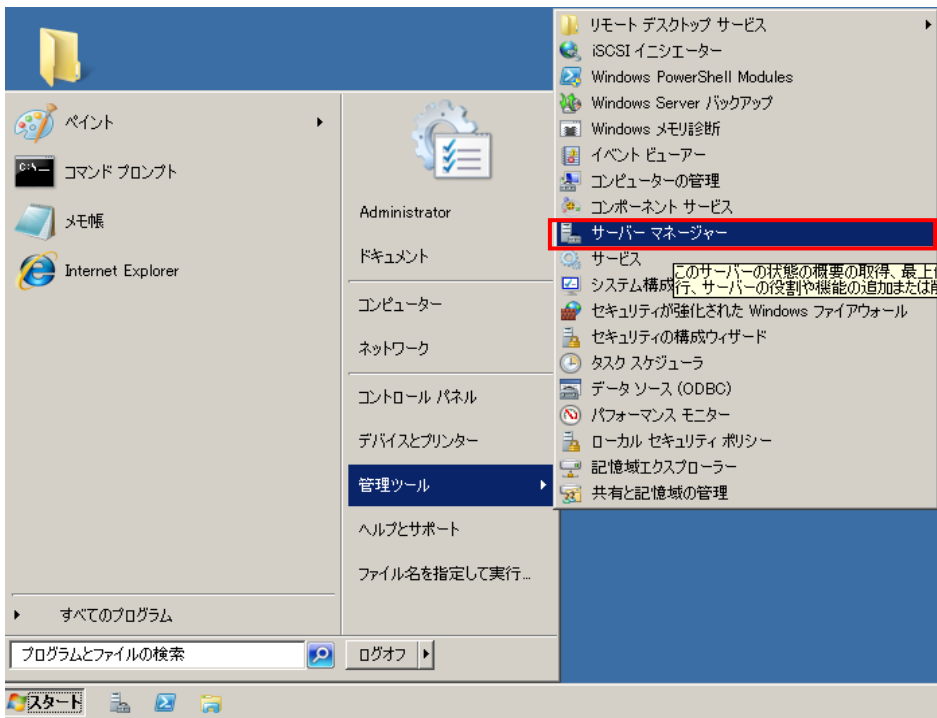


Microsoft .NET Framework 3.5 のインストールが完了すると、以下のとおり表示されます。



2.1.3 Windows Server 2008 R2、Windows Server 2008 R2 SP1

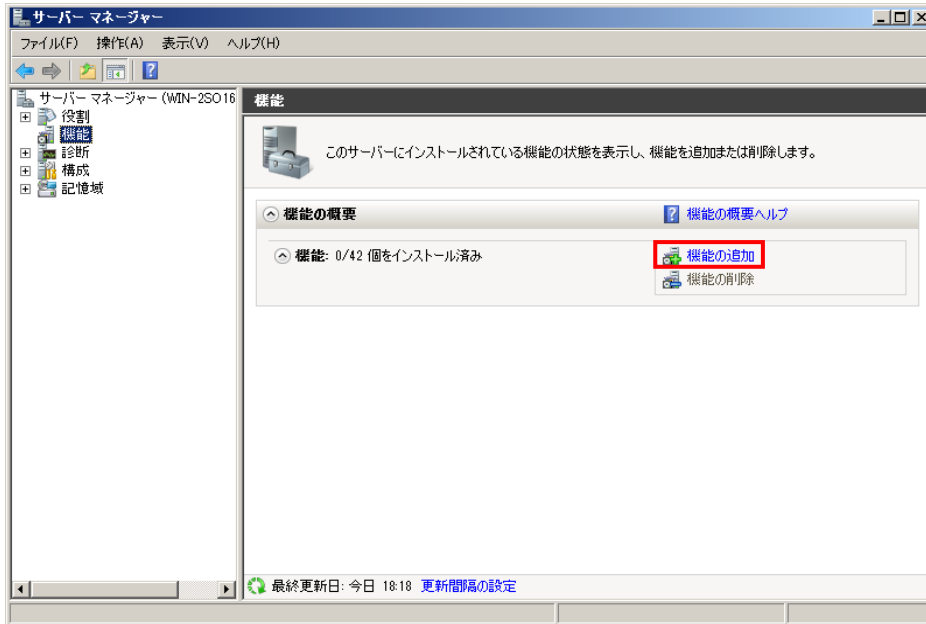
- ・ スタートメニュー → 管理ツール → サーバーマネージャーをクリックします。



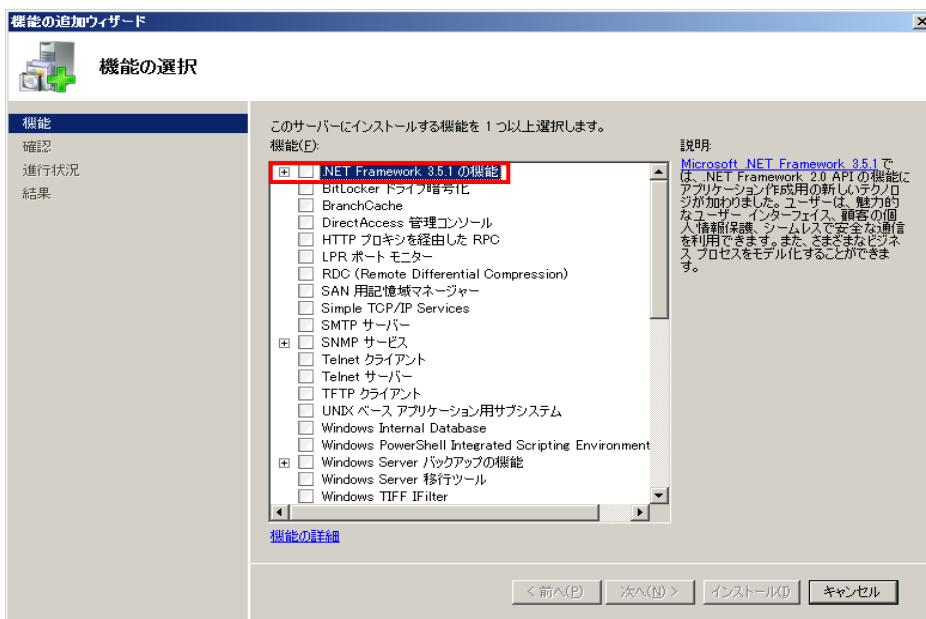
- ・ サーバーマネージャーの左側で機能をクリックします。



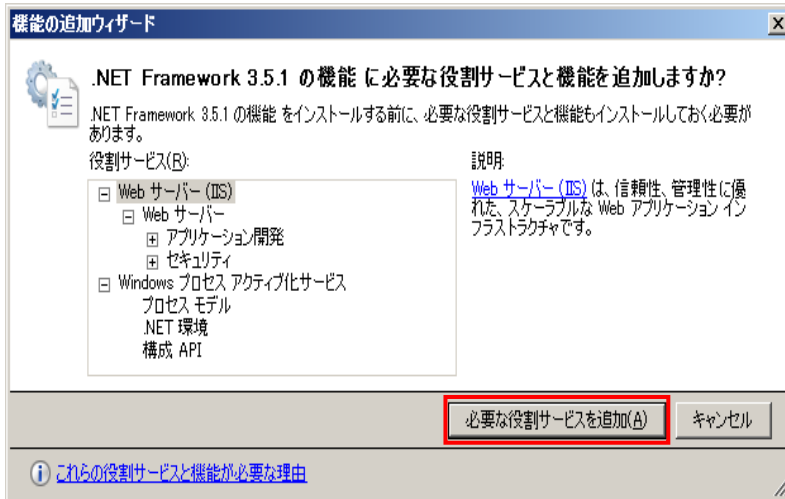
- ・機能の追加をクリックします。



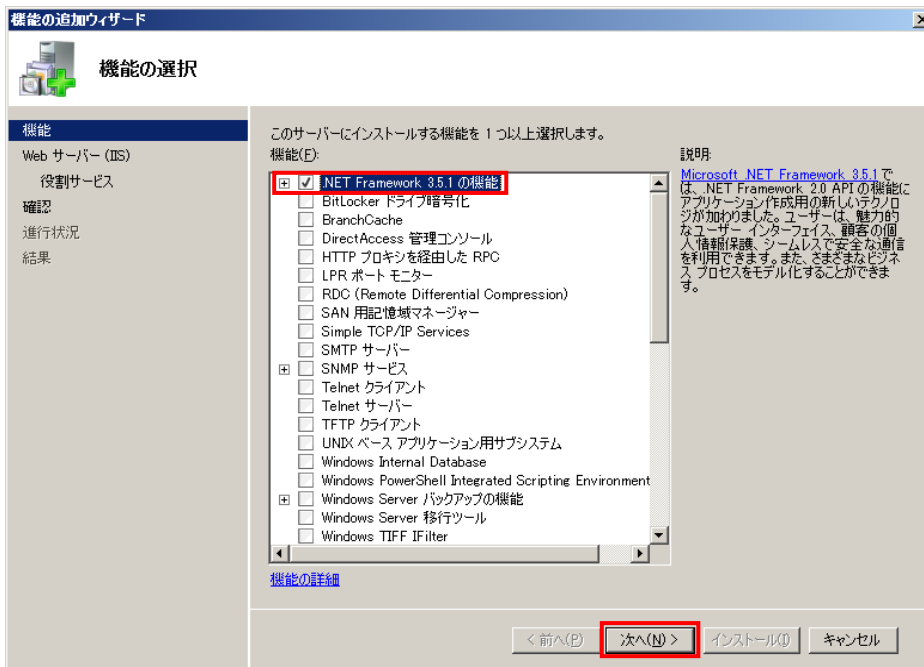
- ・ .NET Framework 3.5.1 の機能にチェックをつけます。



- ・ 必要な役割サービスを追加 (A) をクリックします。



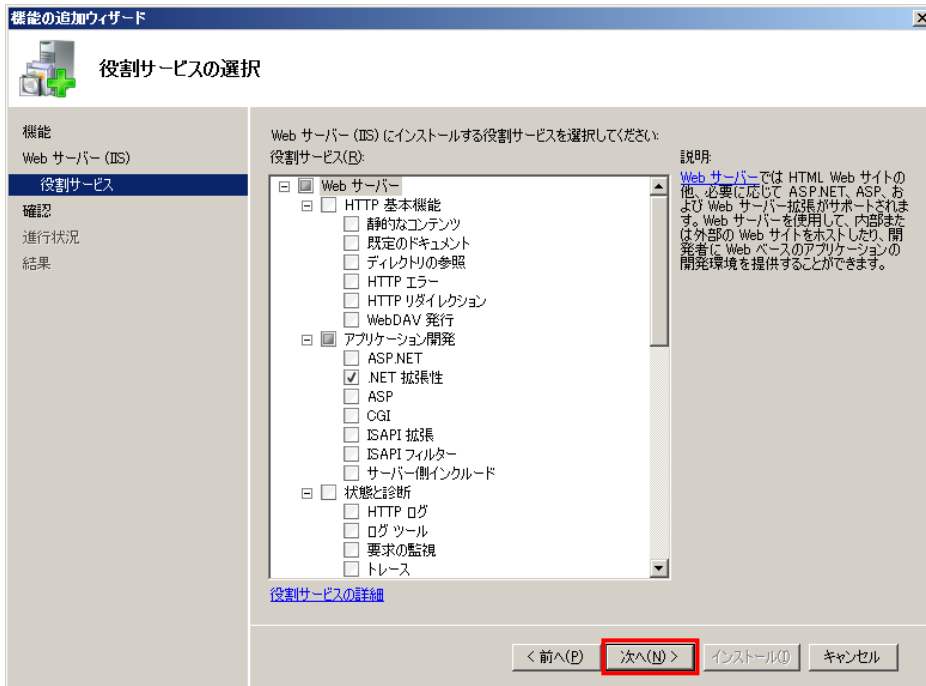
- ・ .NET Framework 3.5.1 の機能にチェックが入ったことを確認し、次へ (N) をクリックします。



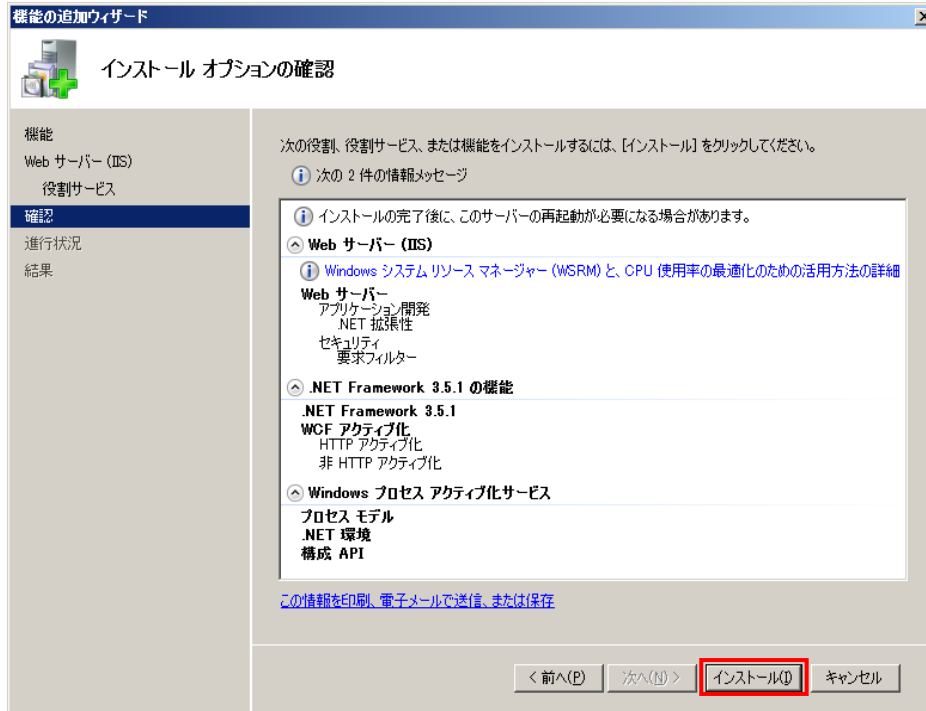
- ・ 次へ (N) をクリックします。



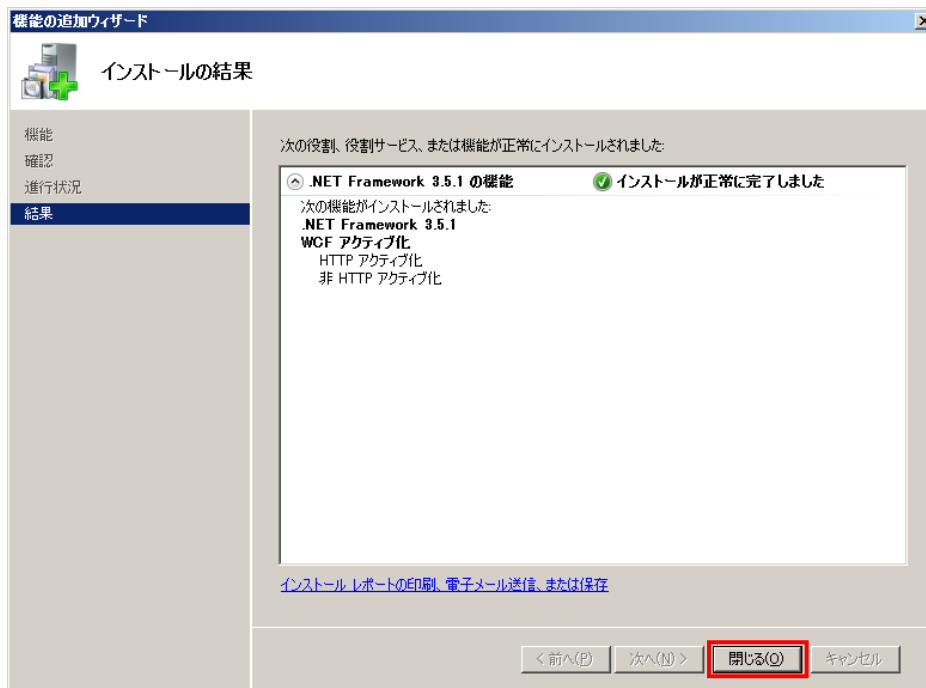
- ・ 次へ (N) をクリックします。



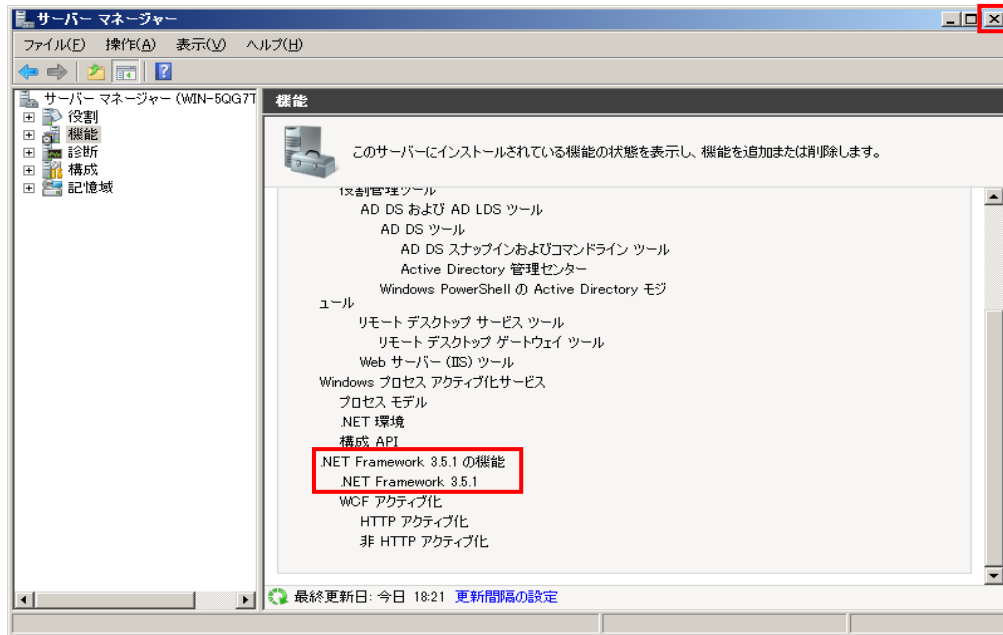
- ・ インストール(I)をクリックします。



- ・ 閉じる(O)をクリックします。



- ・ .NET Framework 3.5.1 がインストールされていることを確認し、閉じるアイコンをクリックします。



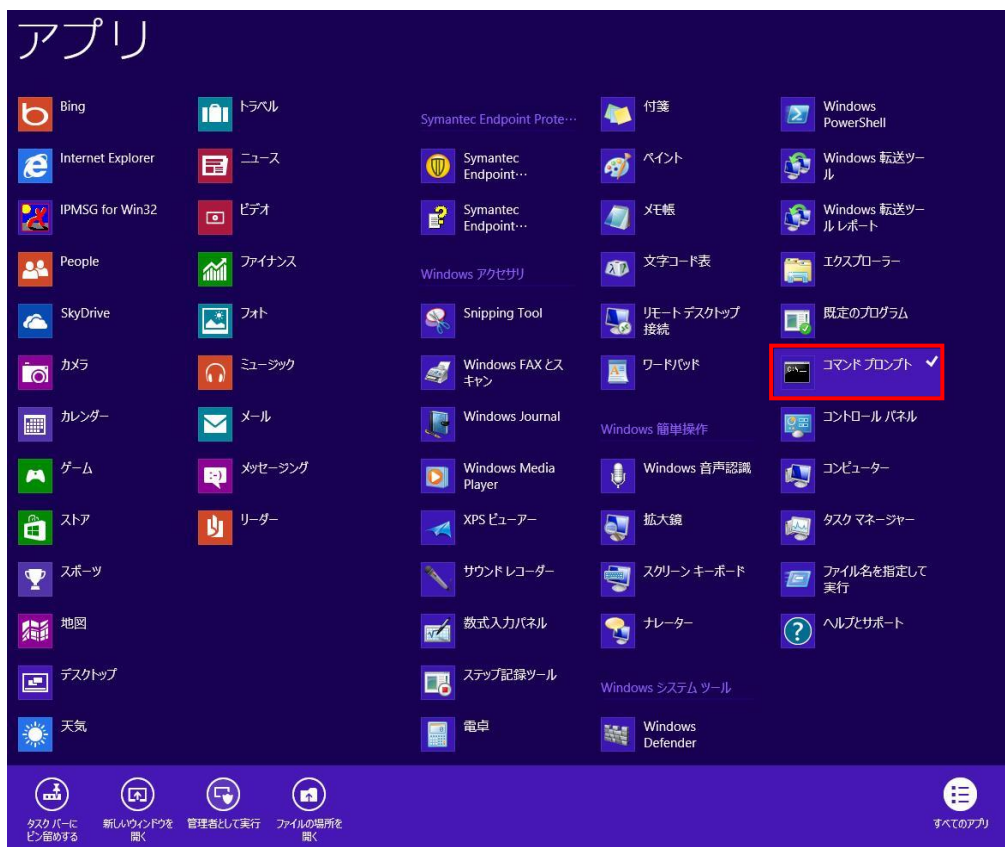
2.1.4 Windows 8、Windows 8.1



2013年12月現在、コントロールパネルのWindowsの機能ウィンドウでMicrosoft .NET Framework 3.5.1にチェックをつけても、Microsoft .NET Framework 3.5 Service Pack 1はインストールできません。

Windows 8をご使用の場合は、Microsoft .NET Framework 3.5 Service Pack 1を以下のとおりインストールメディアを使用し実施します。

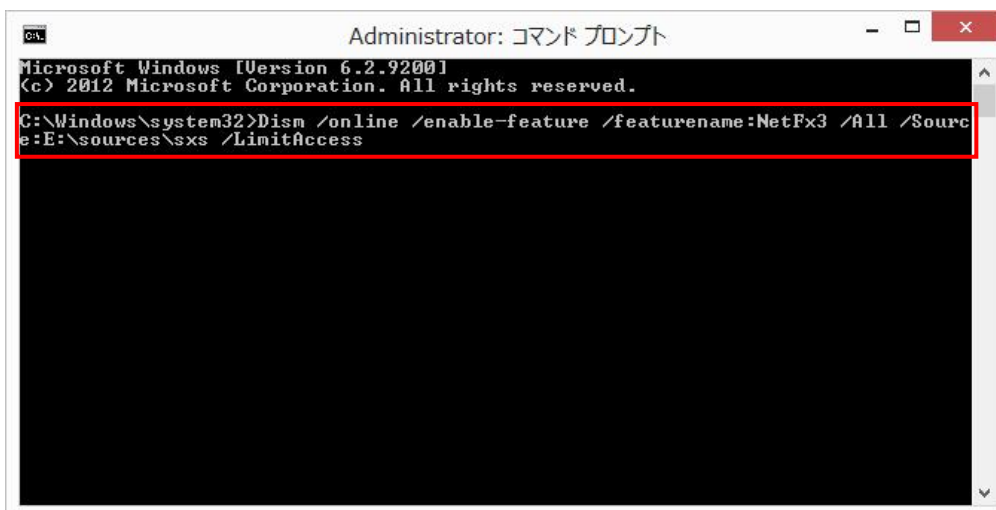
- ・Windows 8のインストールメディアを管理サーバまたはクライアントPCのCD/DVDドライブに挿入します。
- ・管理者権限のユーザでコマンドプロンプトを起動します。



- ・以下のコマンドを実行します。

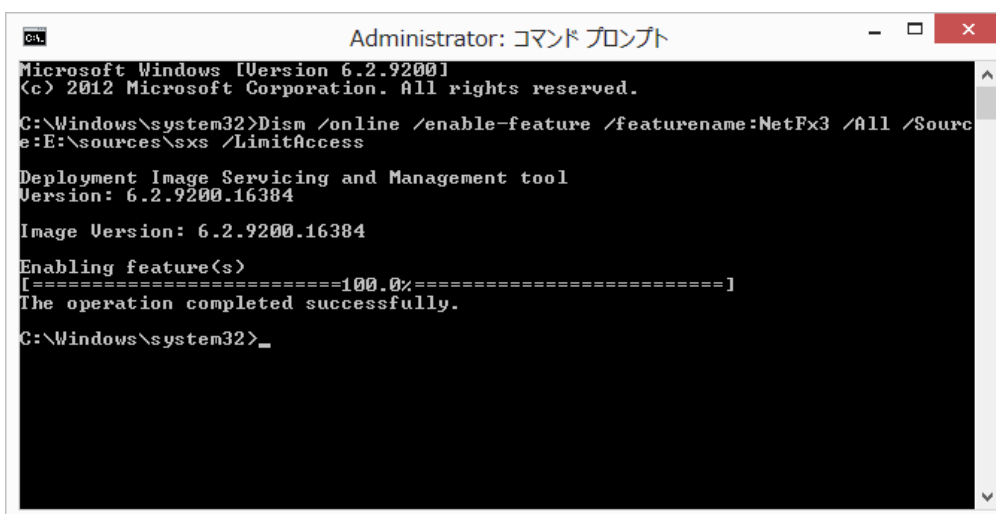
Dism /online /enable-feature /featurename:NetFx3 /All /Source:x:\sources\sxs /LimitAccess
(赤枠内の x:CD/DVD ドライブの文字を入力します。)

ここでは、CD/DVD ドライブが E ドライブの場合を例としたコマンドを記載します。



```
Administrator: コマンド プロンプト
Microsoft Windows [Version 6.2.9200]
(c) 2012 Microsoft Corporation. All rights reserved.
C:\Windows\system32>Dism /online /enable-feature /featurename:NetFx3 /All /Source:E:\sources\sxs /LimitAccess
```

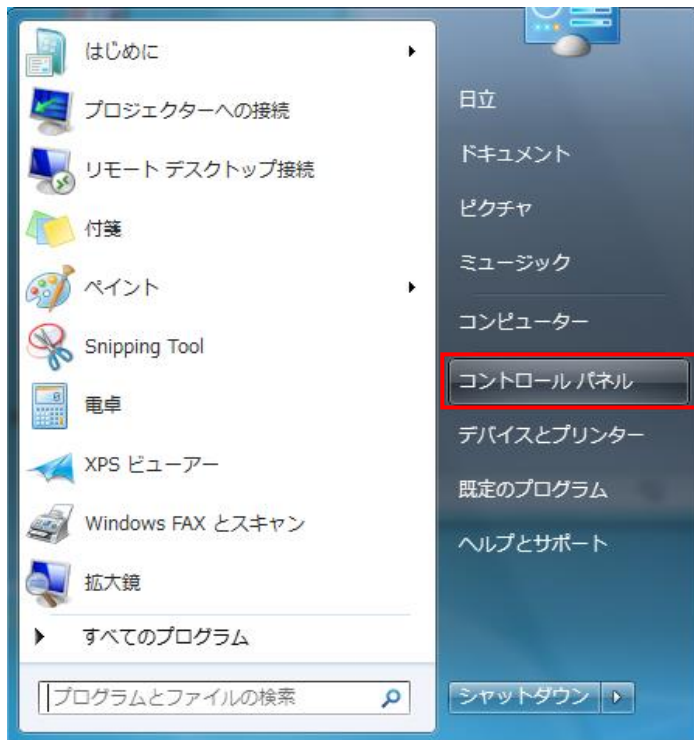
Microsoft .NET Framework 3.5 のインストールが完了すると、以下のとおり表示されます。



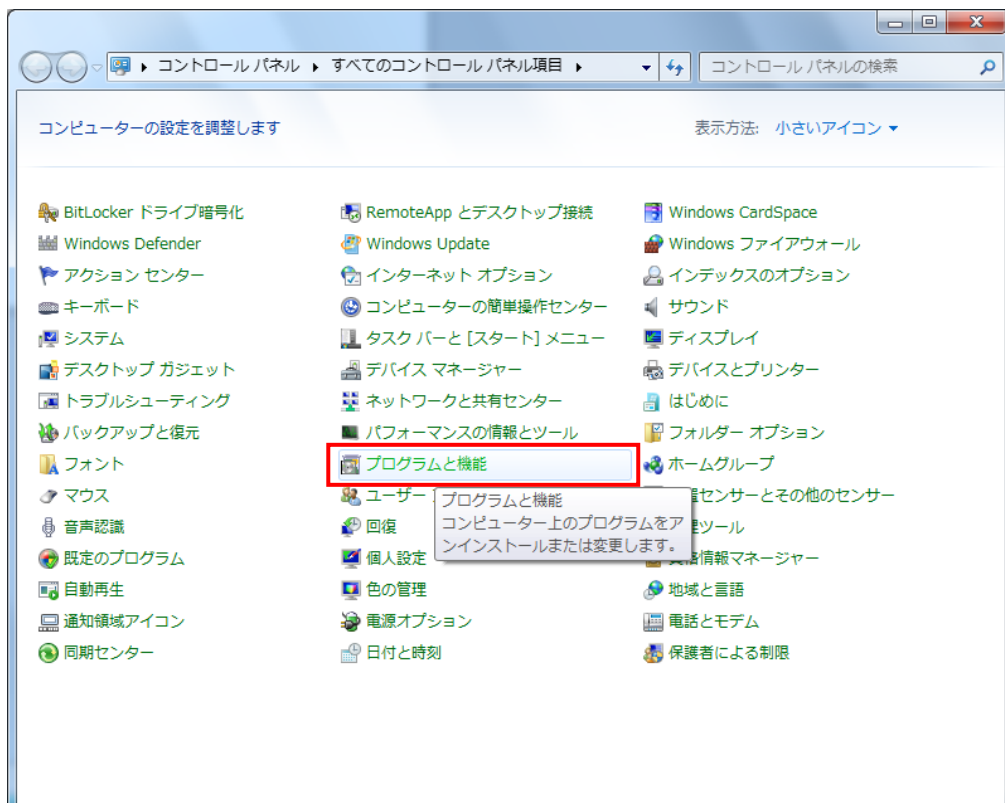
```
Administrator: コマンド プロンプト
Microsoft Windows [Version 6.2.9200]
(c) 2012 Microsoft Corporation. All rights reserved.
C:\Windows\system32>Dism /online /enable-feature /featurename:NetFx3 /All /Source:E:\sources\sxs /LimitAccess
Deployment Image Servicing and Management tool
Version: 6.2.9200.16384
Image Version: 6.2.9200.16384
Enabling feature(s)
[=====100.0%=====]
The operation completed successfully.
C:\Windows\system32>_
```

2.1.5 Windows 7、Windows 7 SP1

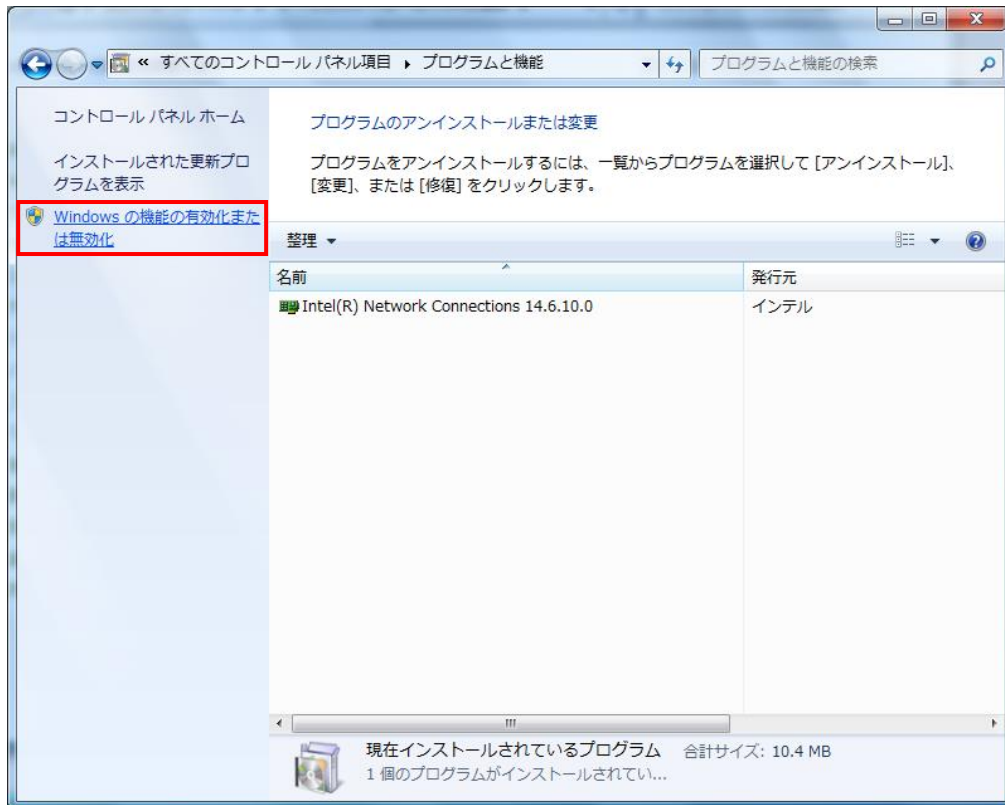
- ・ スタートメニュー → コントロールパネルをクリックします。



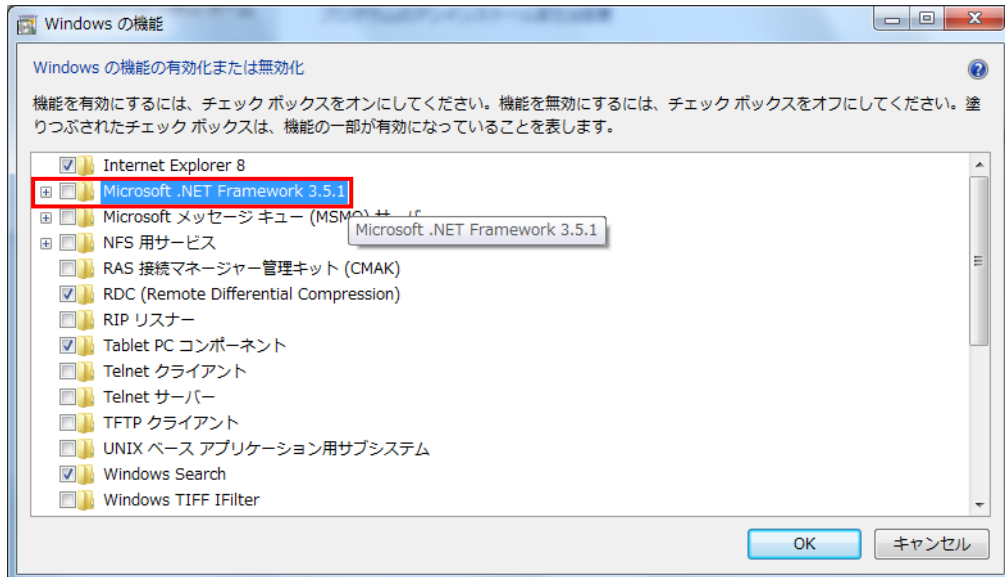
- ・ プログラムと機能をクリックします。



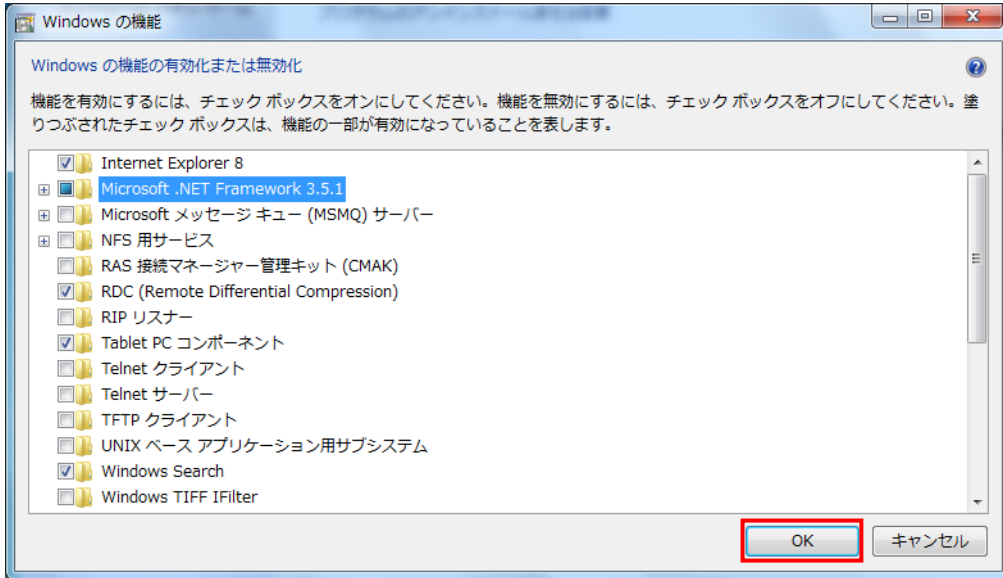
- ・ Windows の機能の有効化または無効化をクリックします。



- ・ Microsoft .NET Framework 3.5.1 のチェックボックスにチェックをつけます。

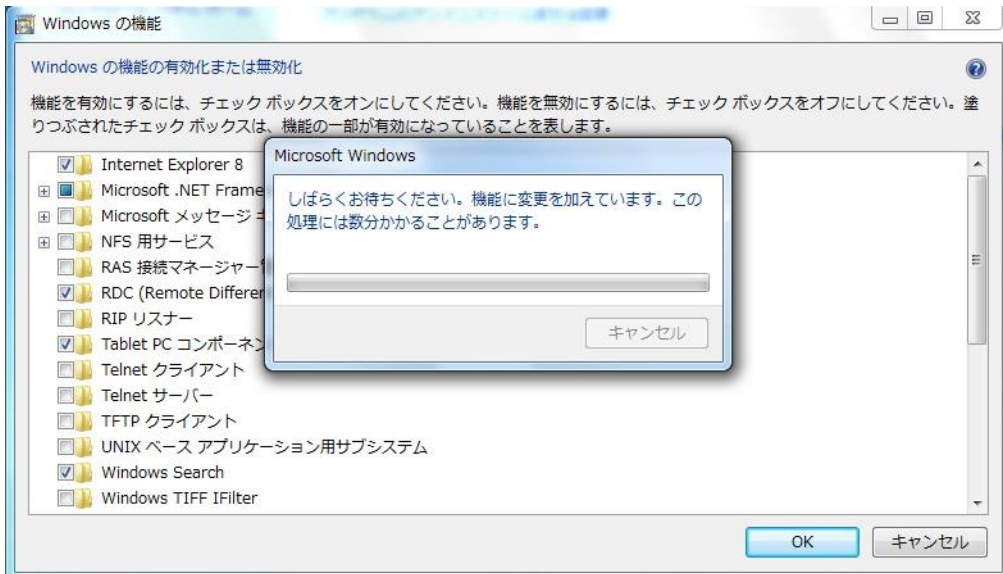


- ・ OK ボタンをクリックします。



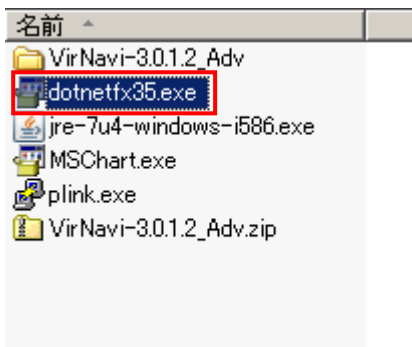
Microsoft .NET Framework 3.5.1 機能の追加中です。

本ウィンドウが閉じると、インストールの完了です。



2.1.6 その他のOS

- ・ダウンロードした dotnetfx35.exe (フルパッケージ) を起動してセットアップを開始します。



- ・実行 (R) ボタンをクリックします。

(ファイルの解凍が始まります。ファイルが解凍されるまで1~2分かかる可能性があります。)



- ・「同意する (A)」をクリックしてインストールボタン (I) をクリックします。

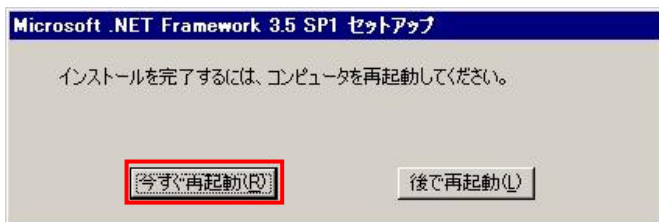
(インストールが開始されます。インストールが完了されるまで数分かかります。)



- ・ 終了(X) ボタンをクリックします。

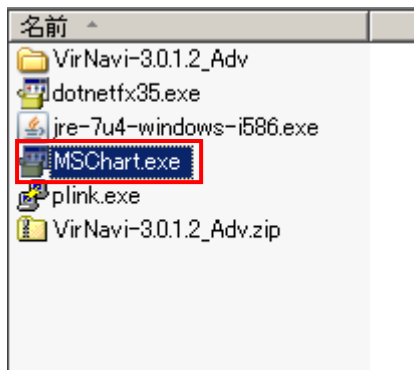


- ・ 今すぐ再起動(R) ボタンをクリックしてインストールを完了させます。
(お使いの OS バージョンによって表示されない場合があります。)

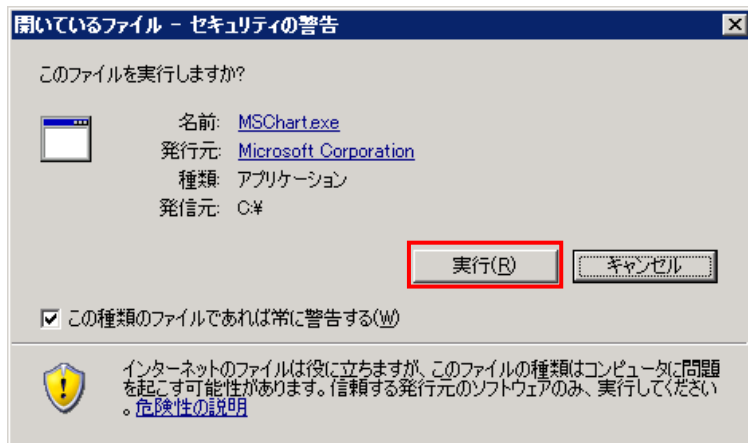


2.2 Microsoft Chart Controls for Microsoft .NET Framework 3.5

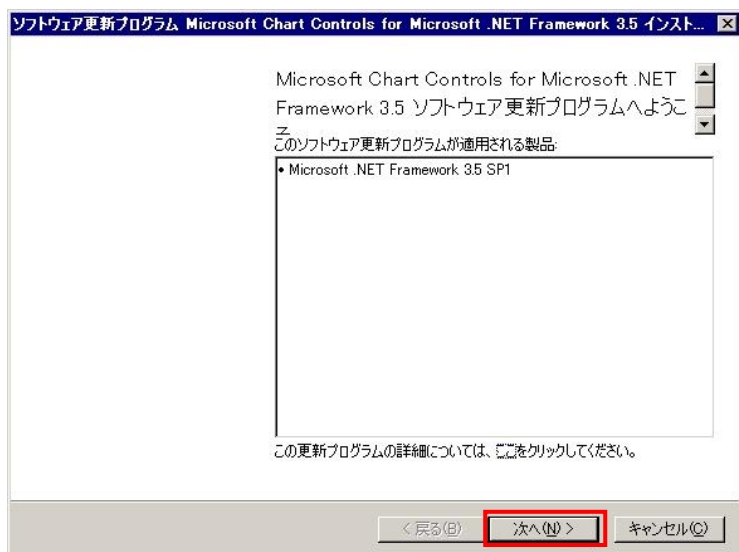
- ・ダウンロードしたセットアップファイル MSChart.exe を起動してセットアップを開始します。



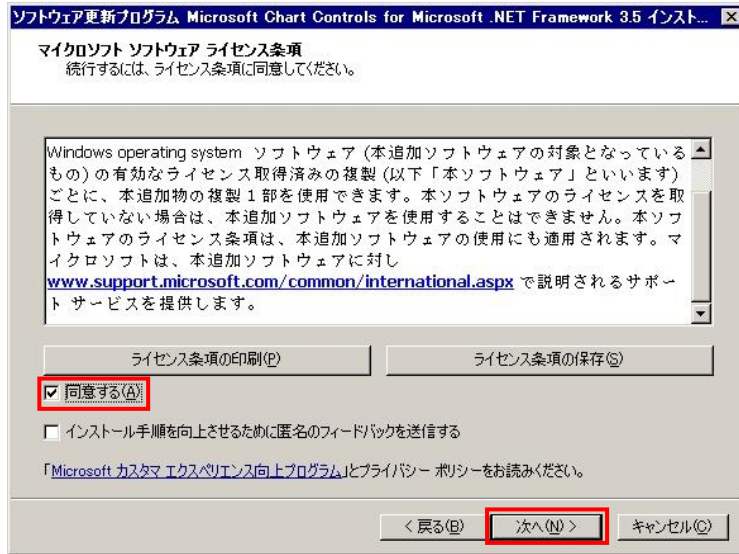
- ・実行(R) ボタンをクリックします。



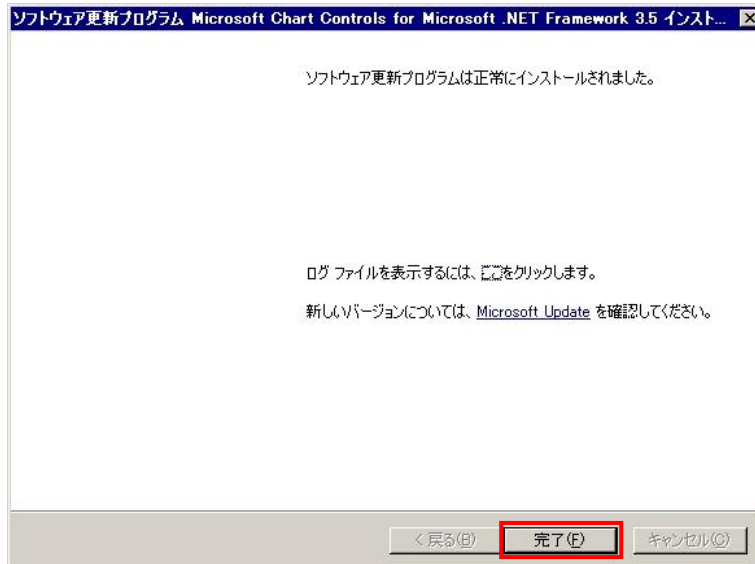
- ・次へ(N) ボタンをクリックします。



- ・「同意する(A)」をクリックして次へ(N) ボタンをクリックします。



- ・完了(F) ボタンをクリックします。



2.3 JRE(Java Runtime Environment)

2.3.1 JRE(Java Runtime Environment) 8

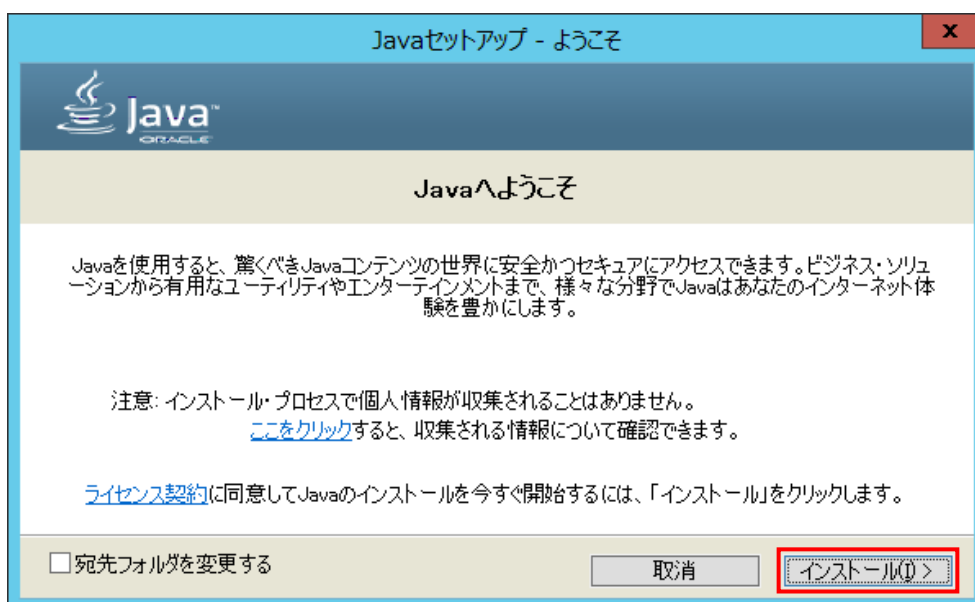
ここでは、例として Windows Server 2012 に JRE 8 バージョン 45 の x64 版をインストールします。

- ・ダウンロードした jre-8u45-windows-x64.exe を起動してセットアップを開始します。

名前	サイズ	項目の種類	更新日時
 jre-8u45-windows-x64.exe	42,148 KB	アプリケーション	2015/04/24 18:02

- ・インストール(I) ボタンをクリックします。

(インストールが開始されます。)



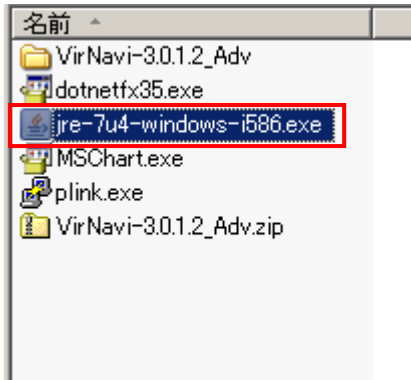
- ・閉じる(C) ボタンをクリックします。



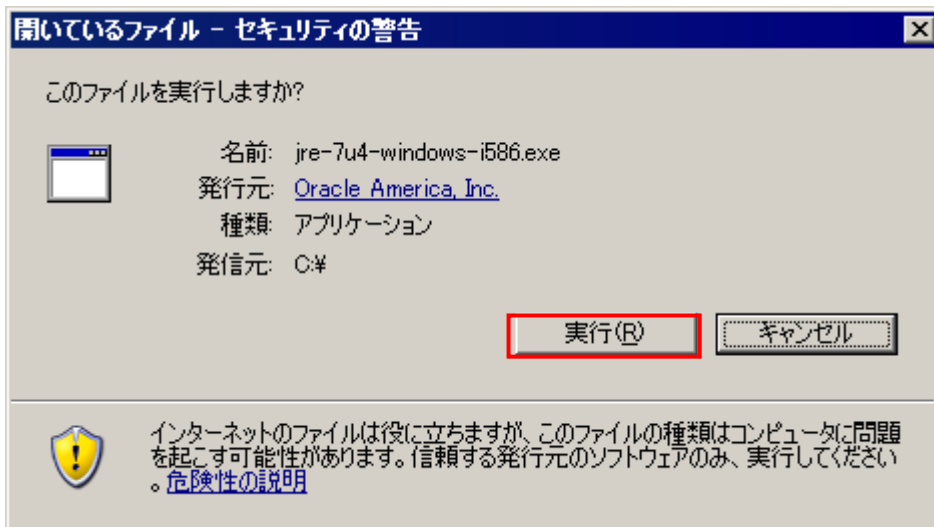
2.3.2 JRE(Java Runtime Environment) 7

ここでは、例として Windows Server 2003 R2 SP2 に JRE 7バージョン4の x86版をインストールします。

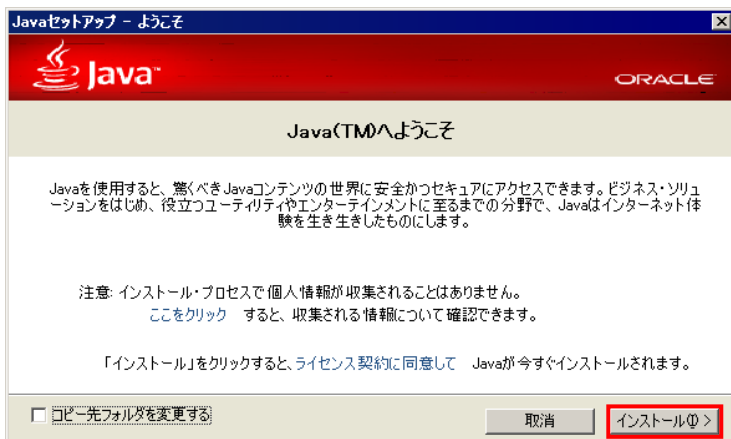
- ・ダウンロードした jre-7u4-windows-i586.exe を起動してセットアップを開始します。



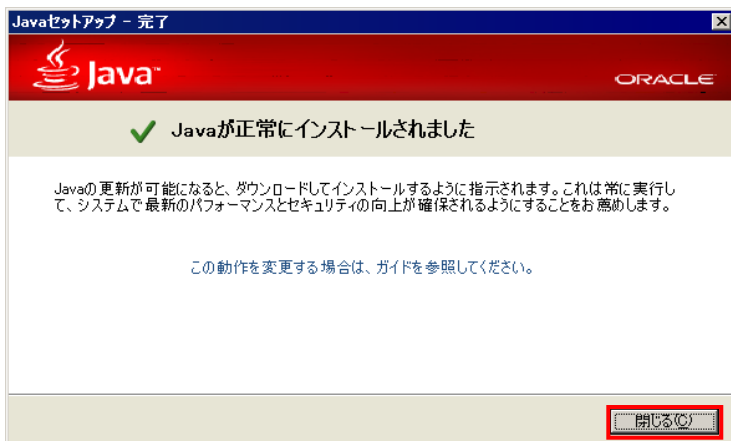
- ・実行(R) ボタンをクリックします。



- ・インストール(I) ボタンをクリックします。
(インストールが開始されます。インストールには数分かかります。)



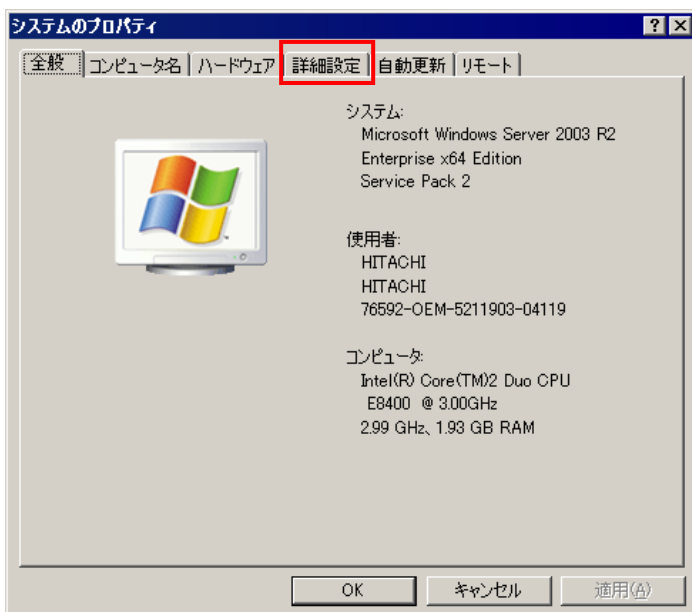
- ・閉じる(C) ボタンをクリックします。



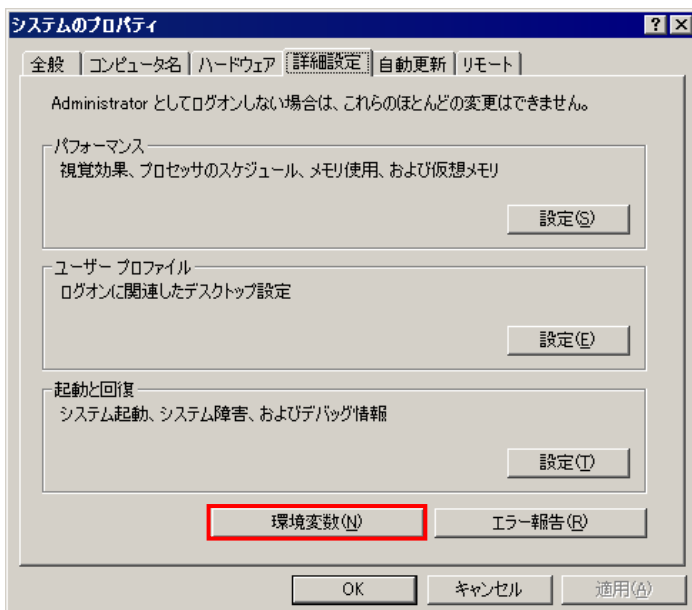
Windows 64 ビット版に JRE (Java Runtime Environment) 32 ビット版をインストールした場合は、環境変数に JRE (Java Runtime Environment) 32 ビット版をインストールしたフォルダのパスを設定する必要があります。続けて環境変数の設定を行ってください。

- ・次に環境変数を設定します。

スタートメニュー → コントロールパネル → システムを選択し、詳細設定タブをクリックします。



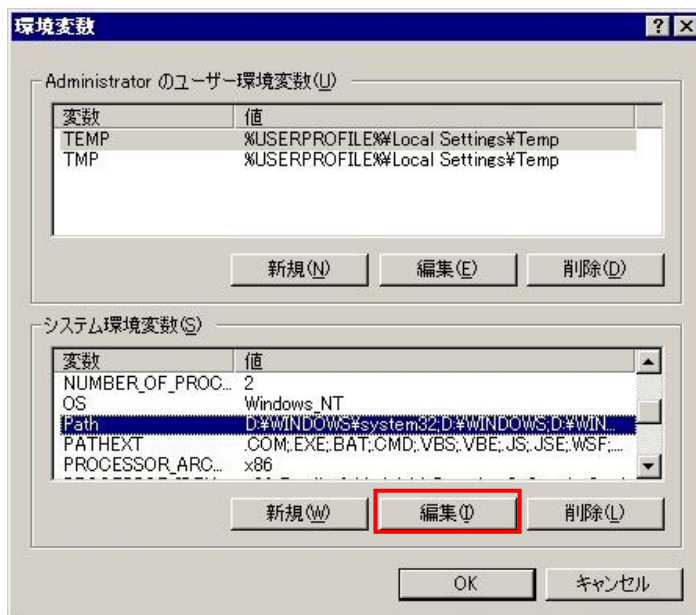
- ・環境変数(N) ボタンをクリックします。



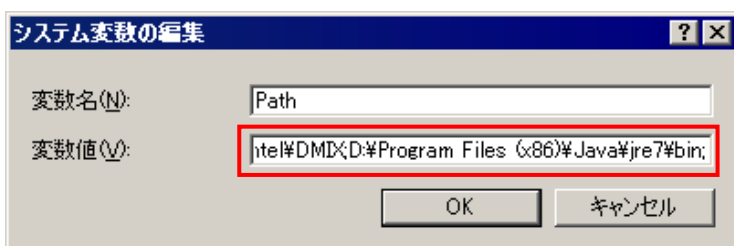
- ・システム環境変数(S)の変数の中から Path をクリックします。



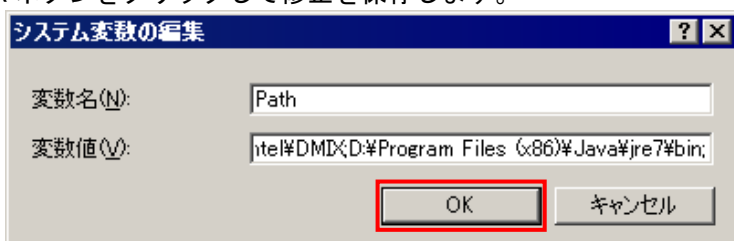
- ・編集(I) ボタンをクリックします。



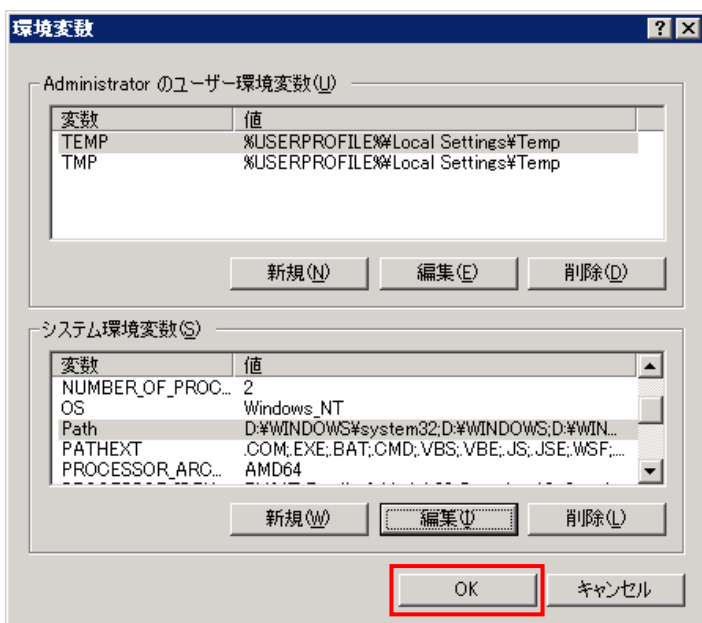
- ・ jre-7u4-windows-i586.exe をインストールした Path を確認します。
- ・ インストールした Path を環境変数に設定します。
- ・ ここでは変数値 (V) の最後に、「:D:\Program Files (x86)\Java\jre7\bin」を追加します。



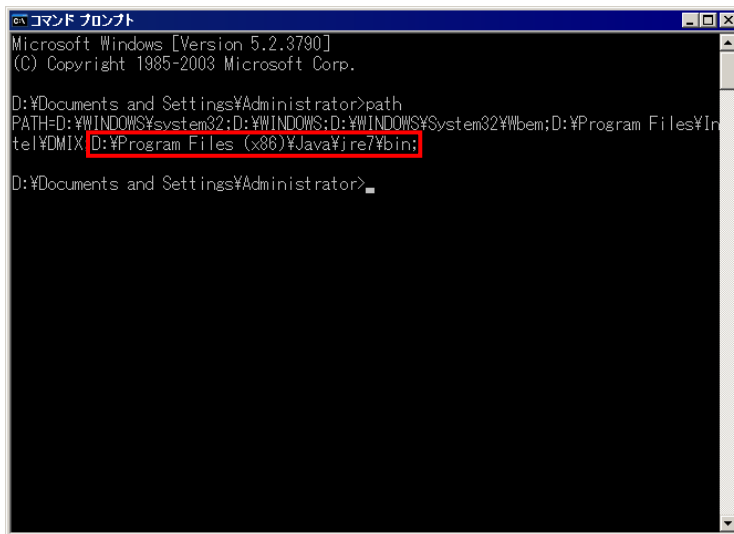
- ・ OK ボタンをクリックして修正を保存します。



- ・ OK ボタンをクリックして修正を保存します。



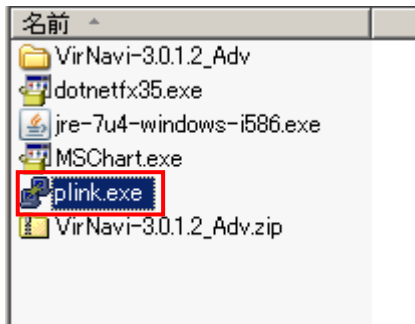
- ・ スタートメニュー → すべてのプログラム → アクセサリ → コマンド プロンプトをクリックします。
- ・ path と入力し、環境変数に設定した Path を確認します。



```
コマンドプロンプト
Microsoft Windows [Version 5.2.3790]
(C) Copyright 1985-2003 Microsoft Corp.

D:\Documents and Settings\Administrator>path
PATH=D:\WINDOWS\system32;D:\WINDOWS\System32\Wbem;D:\Program Files\Intel\DMIX;D:\Program Files (x86)\Java\jre7\bin;
D:\Documents and Settings\Administrator>
```

2.4 Plink Release 0.67



- ・ダウンロードしたアプリケーションファイル plink.exe を Virtage Navigator インストールフォルダ %VirNavi%bin にコピーしてください。

A screenshot of a Windows file explorer window showing the contents of the Virtage Navigator installation folder. The files are listed in a table with columns for Name, Size, and Type. The file plink.exe is highlighted with a red box.

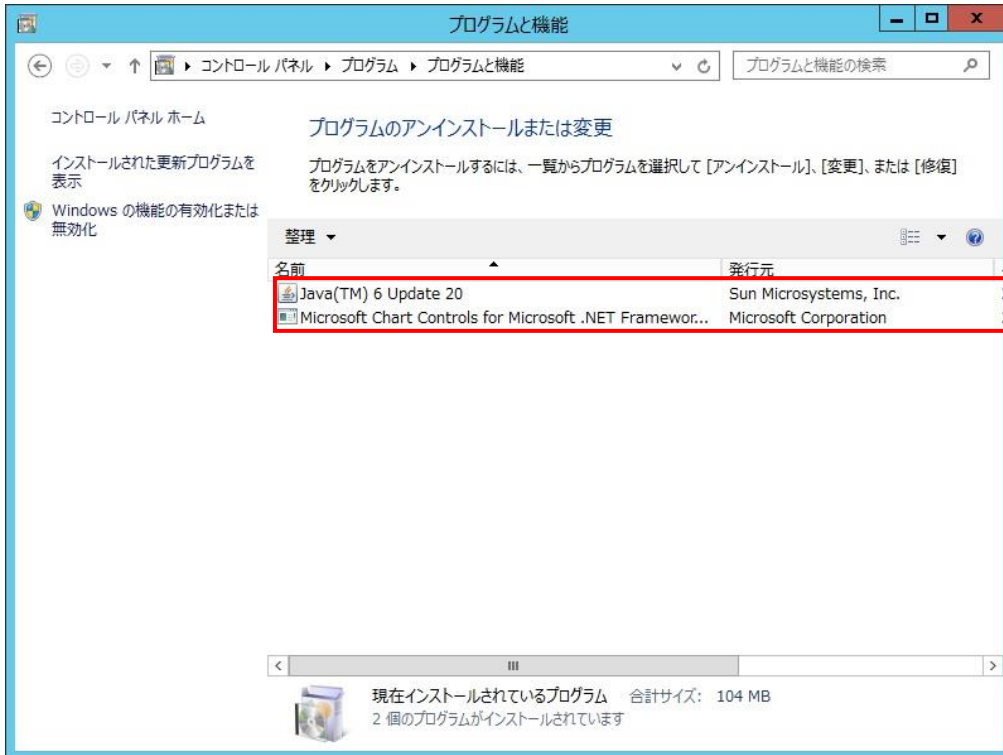
名前	サイズ	種類
VNavigator.exe	1,856 KB	アプリケーション
VirtDll.dll	1,081 KB	アプリケーション拡張
HvmSh.exe	850 KB	アプリケーション
HvmGetPerf.exe	238 KB	アプリケーション
VirtGetLogs.exe	15 KB	アプリケーション
Nevron.Examples.Framework...	61 KB	アプリケーション拡張
Nevron.Examples.Framework...	148 KB	アプリケーション拡張
Nevron.Diagram.WebForm.dll	44 KB	アプリケーション拡張
Nevron.Diagram.WinForms.dll	628 KB	アプリケーション拡張
Nevron.Diagram.Templates.dll	60 KB	アプリケーション拡張
Nevron.Diagram.Shapes.dll	492 KB	アプリケーション拡張
Nevron.Diagram.dll	1,188 KB	アプリケーション拡張
Nevron.Chart.WebForm.dll	44 KB	アプリケーション拡張
Nevron.Chart.WinForms.dll	212 KB	アプリケーション拡張
Nevron.Chart.dll	1,872 KB	アプリケーション拡張
Nevron.GraphicsGL.dll	412 KB	アプリケーション拡張
Nevron.UIWebForm.Controls...	464 KB	アプリケーション拡張
Nevron.UISkinForm.Skins.dll	2,008 KB	アプリケーション拡張
Nevron.UISkinForm.Docking.dll	720 KB	アプリケーション拡張
Nevron.Presentation.dll	4,736 KB	アプリケーション拡張
Nevron.System.dll	448 KB	アプリケーション拡張
plink.exe	276 KB	アプリケーション

3 インストール後の確認

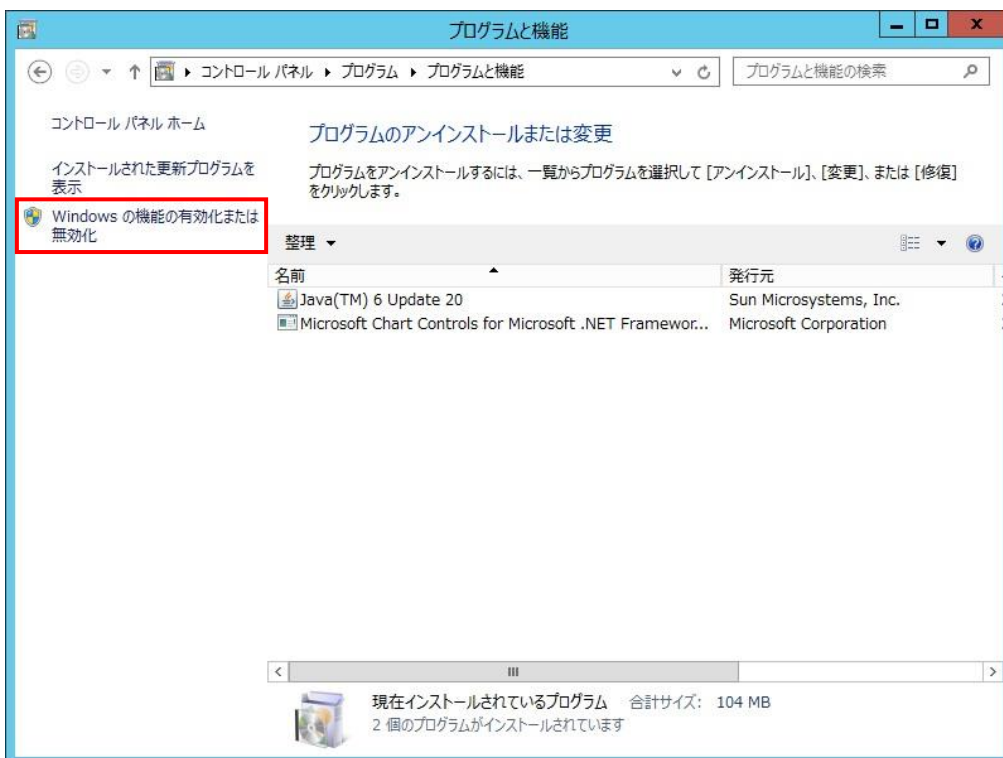
Virtage Navigator と Plink 以外のインストールされたアプリケーションは、以下の手順で確認できます。

3.1 Windows Server 2012、Windows Server 2012 R2、Windows Server 2016

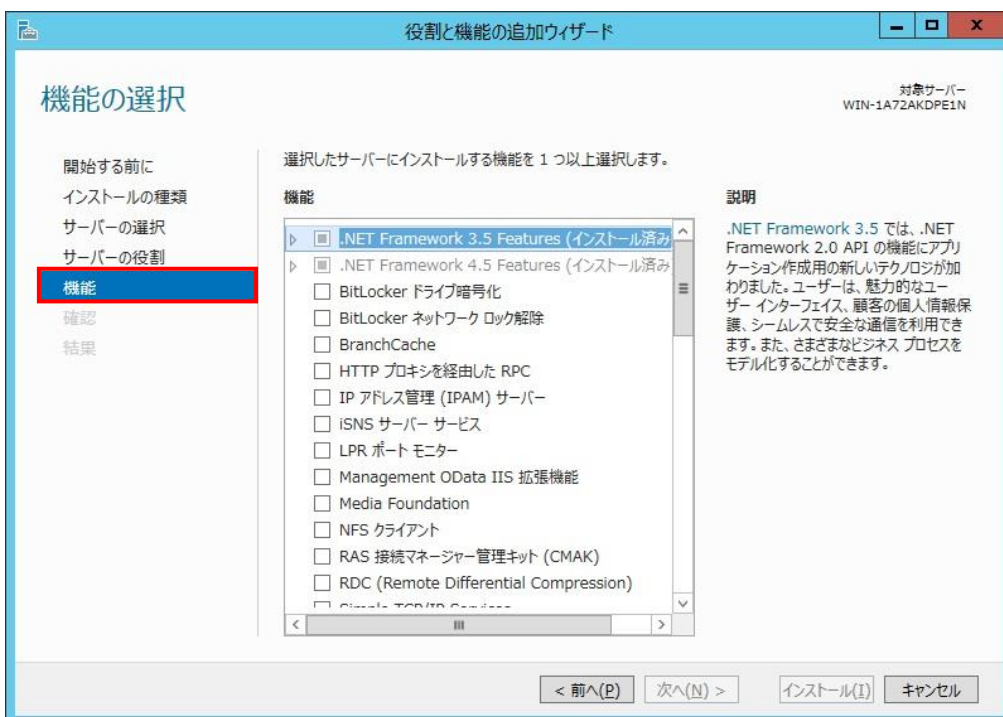
- ・コントロールパネルのプログラムと機能を開いて Microsoft Chart Controls for Microsoft .NET Framework 3.5、Java がインストールされていることを確認します。



- ・ Windows の機能の有効化または無効化をクリックします。

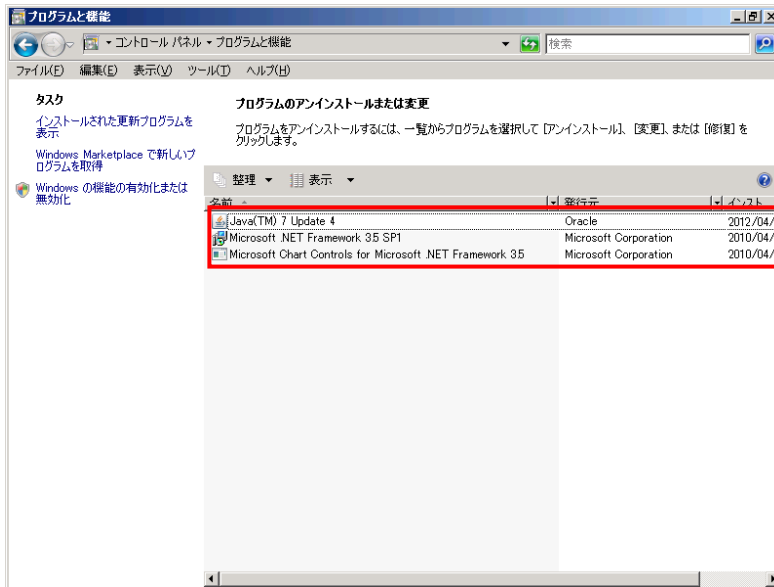


- ・ 役割と機能の追加ウィザードの機能で、.NET Framework 3.5 Features のチェックボックスが塗りつぶされていることを確認します。

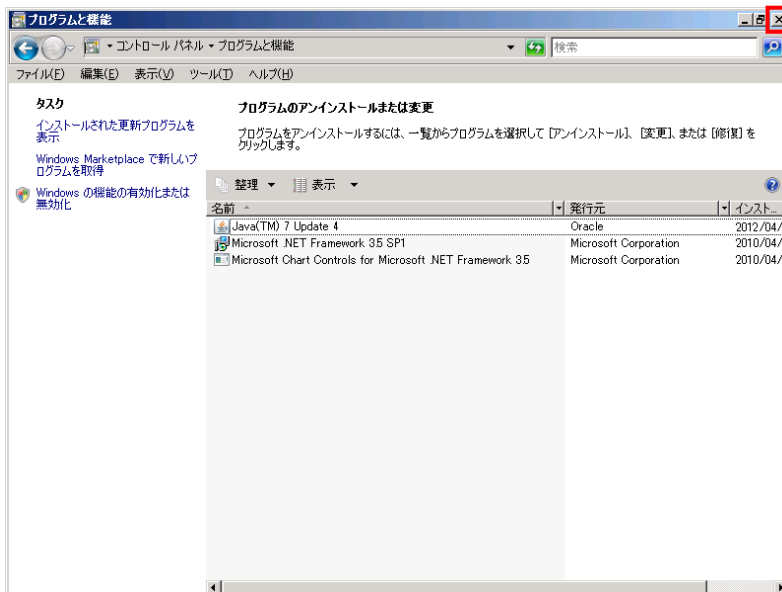


3.2 Windows Server 2008、Windows Server 2008 SP2

- ・コントロールパネルのプログラムと機能を開いて Microsoft Chart Controls for Microsoft .NET Framework 3.5、Microsoft .NET Framework 3.5.1、Java がインストールされていることを確認します。

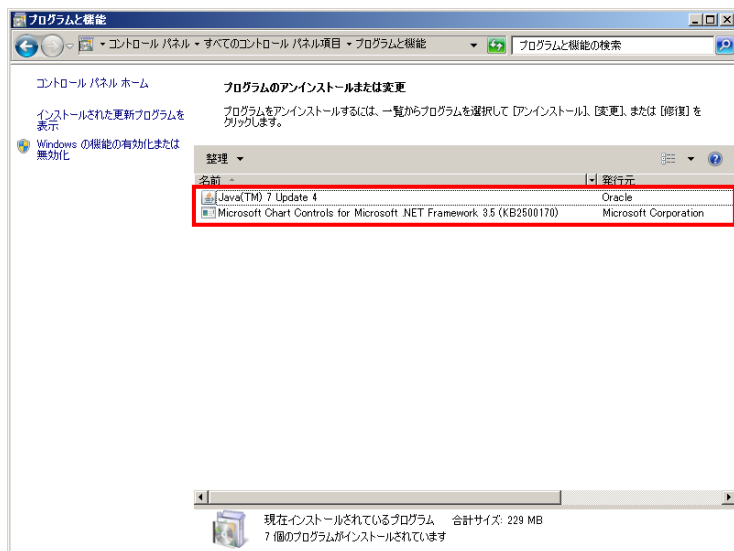


- ・タイトルバーにある閉じるアイコンをクリックして、ウィンドウを閉じます。

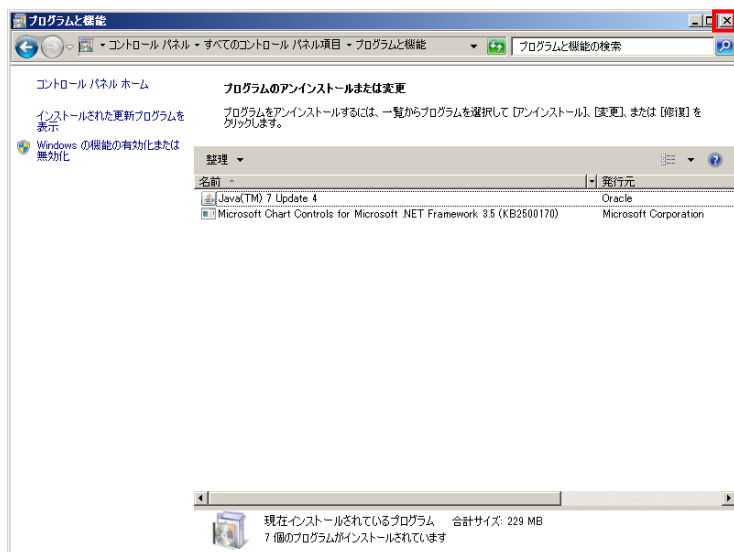


3.3 Windows Server 2008 R2、Windows Server 2008 R2 SP1

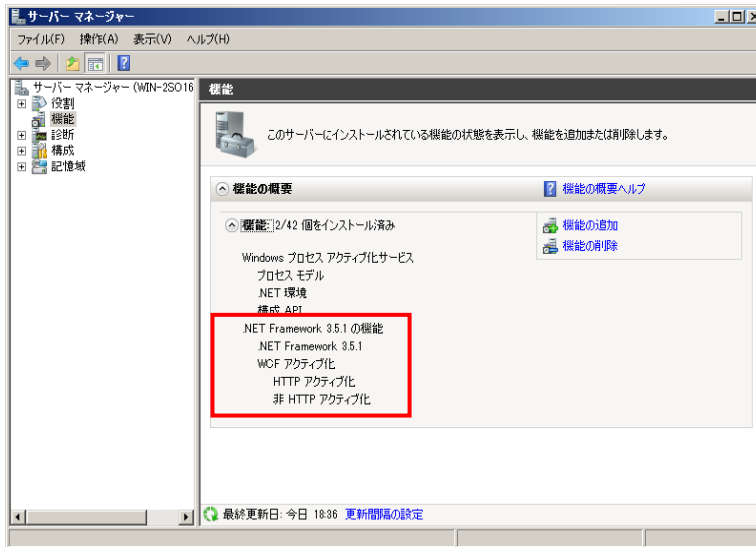
- ・コントロールパネルのプログラムと機能を開いて Microsoft Chart Controls for Microsoft .NET Framework 3.5、Java がインストールされていることを確認します。



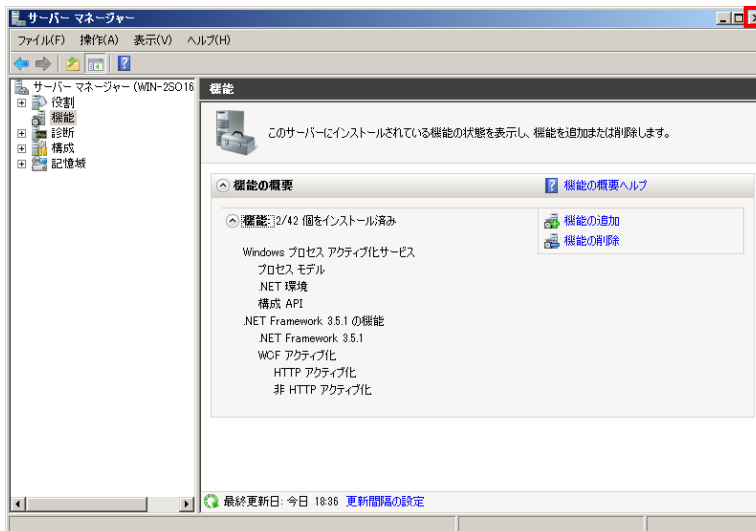
- ・タイトルバーにある閉じるアイコンをクリックして、ウインドウを閉じます。



- ・ サーバーマネージャーを開き、.NET Framework 3.5.1 の機能が追加されている事を確認します。
(サーバーマネージャーの開き方については、「2.1.3 Windows Server 2008 R2、 Windows Server 2008 R2 SP1」をご参照ください。)

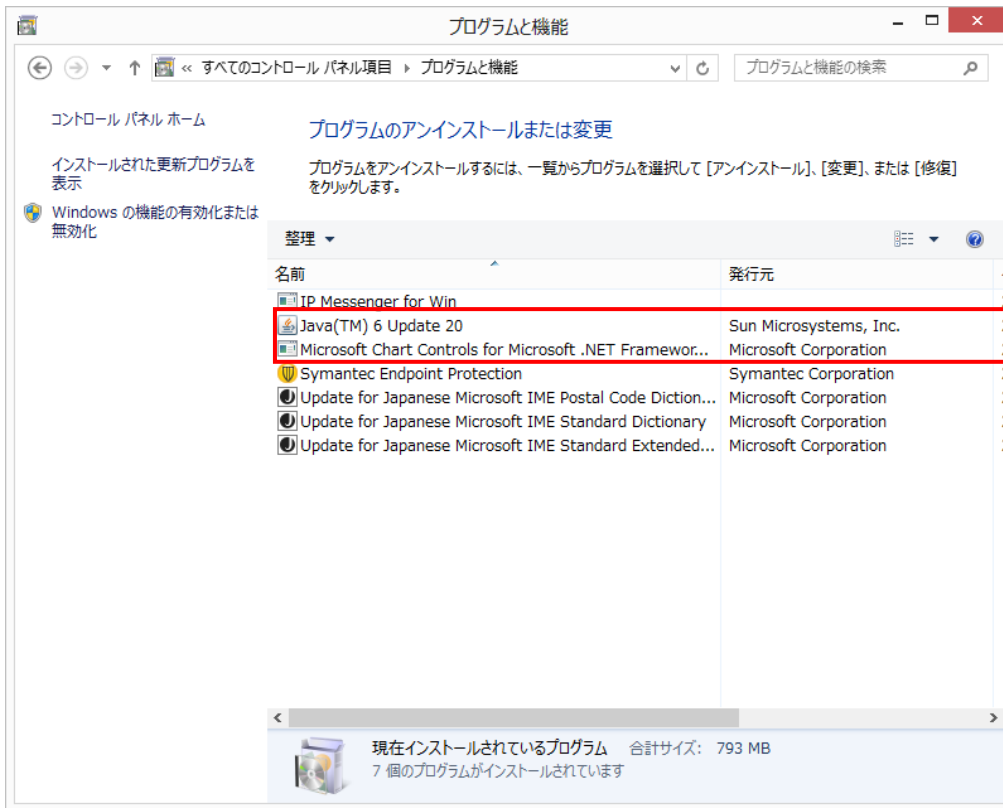


- ・ タイトルバーにある閉じるボタンをクリックして、ウインドウを閉じます。

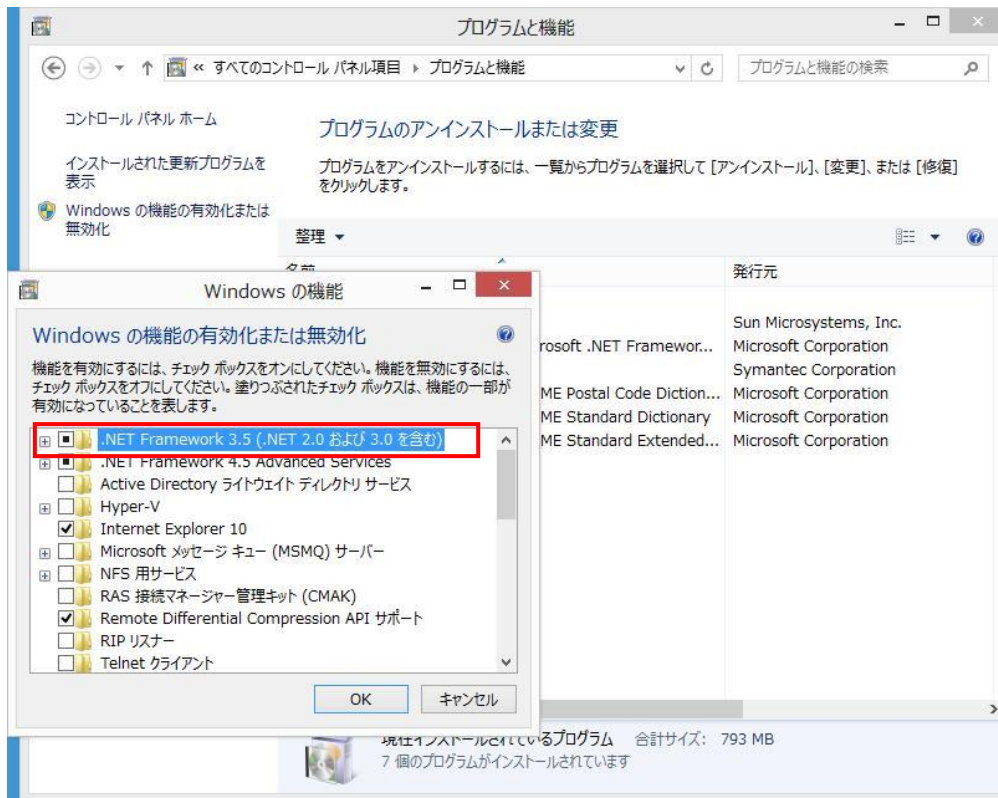


3.4 Windows 8、Windows Server 8.1

- ・コントロールパネルのプログラムと機能を開いて Microsoft Chart Controls for Microsoft .NET Framework 3.5、Java がインストールされていることを確認します。

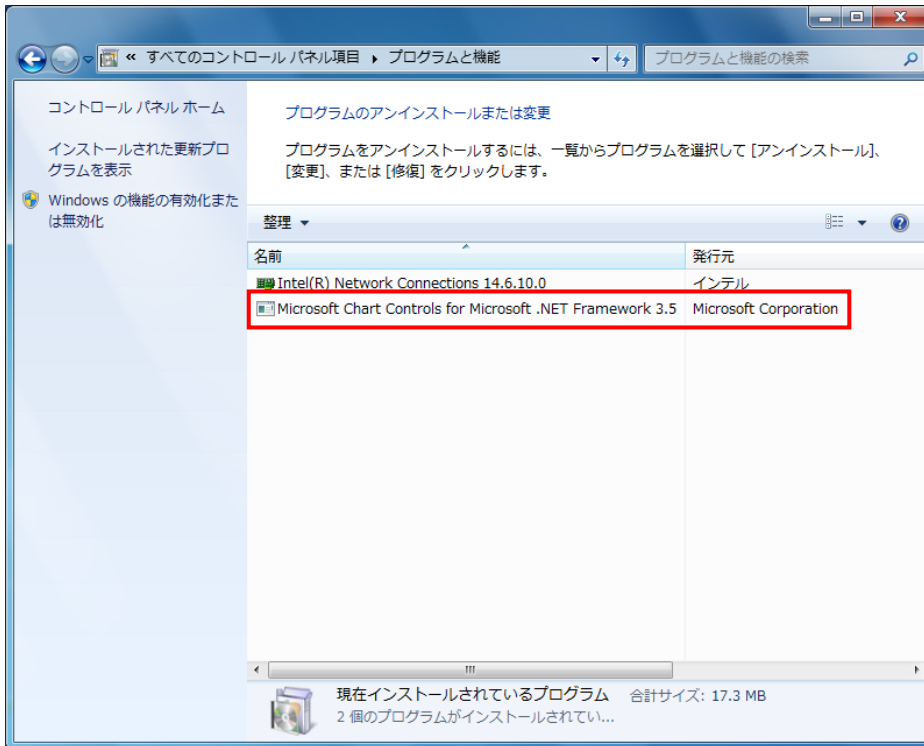


- ・ Windows の機能の有効化または無効化をクリックし、Windows の機能で .NET Framework 3.5 (.NET 2.0 および 3.0 を含む) のチェックボックスが塗りつぶされていることを確認します。

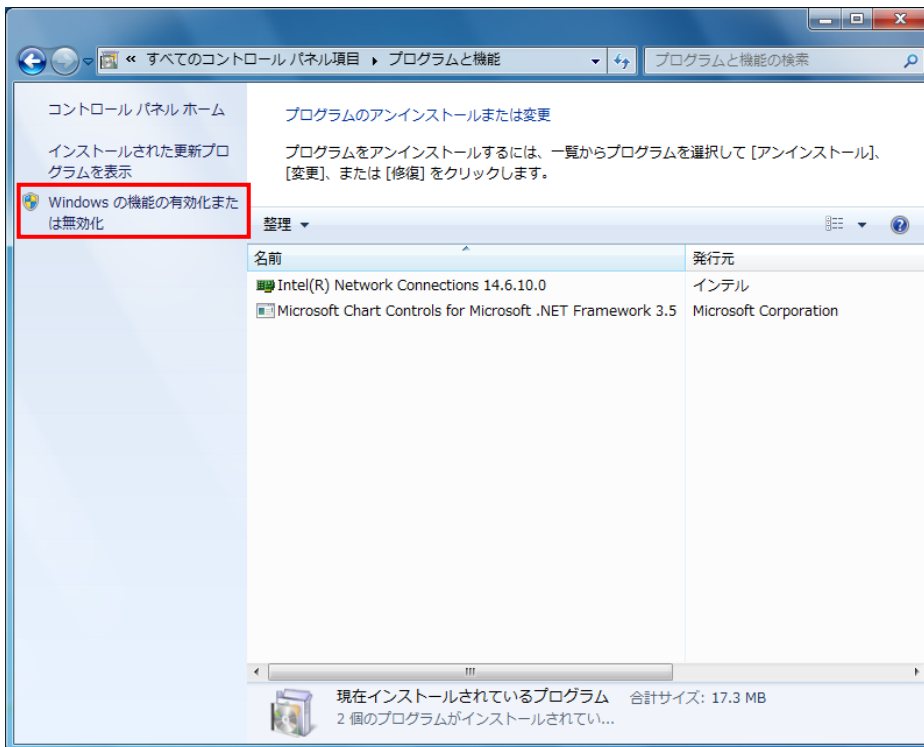


3.5 Windows 7、Windows 7 SP1

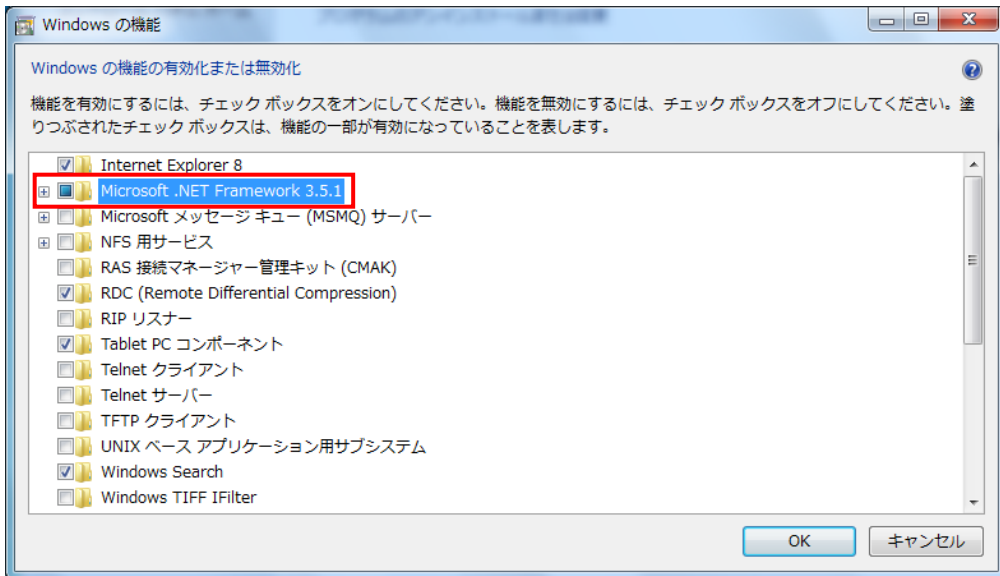
- ・コントロールパネルのプログラムと機能を開いて、Microsoft Chart Controls for Microsoft .NET Framework 3.5 がインストールされていることを確認します。



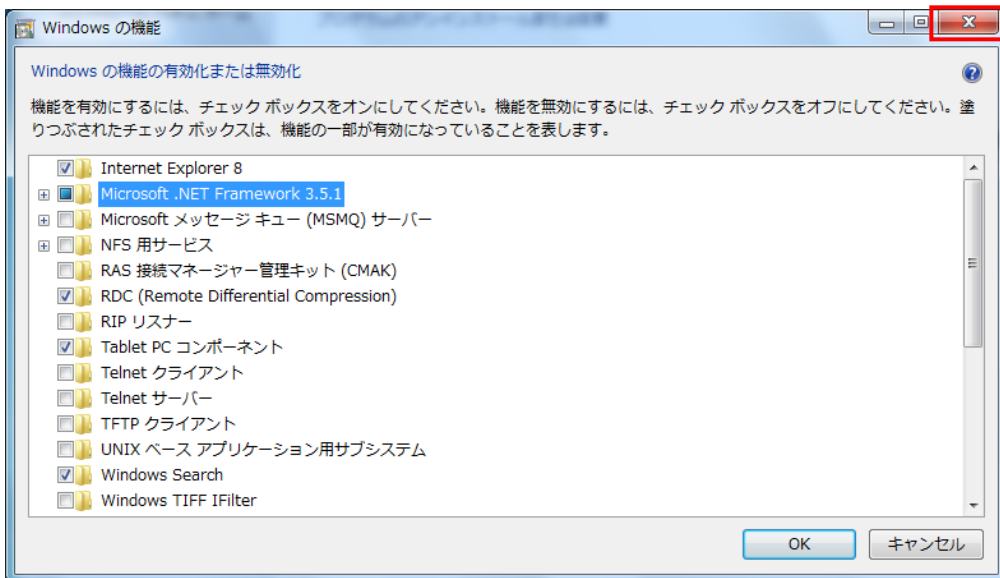
- ・Windows の機能の有効化または無効化をクリックします。



- ・ Microsoft .NET Framework 3.5.1 がインストールされていることを確認します。



- ・ タイトルバーにある閉じるボタンをクリックして、ウィンドウを閉じます。



3.6 その他の OS

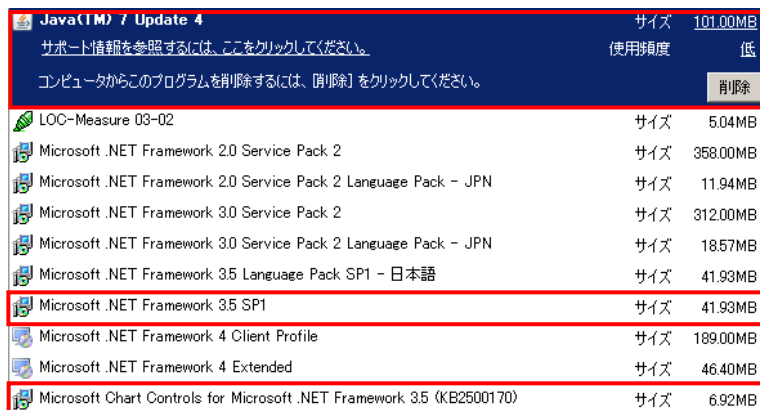
- ・ (Windows Vista の場合)

コントロールパネルのプログラムと機能から、Microsoft Chart Controls for Microsoft .NET Framework 3.5、Microsoft .NET Framework 3.5.1、Java がインストールされていることを確認します。

- ・ (Server 2003 R2 SP2 の場合)

コントロールパネルのプログラムの追加と削除から、Microsoft Chart Controls for Microsoft .NET Framework 3.5、Microsoft .NET Framework 3.5.1、Java がインストールされていることを確認します。

- ・ ウィンドウを閉じてください。削除ボタンをクリックしないようにご注意ください。



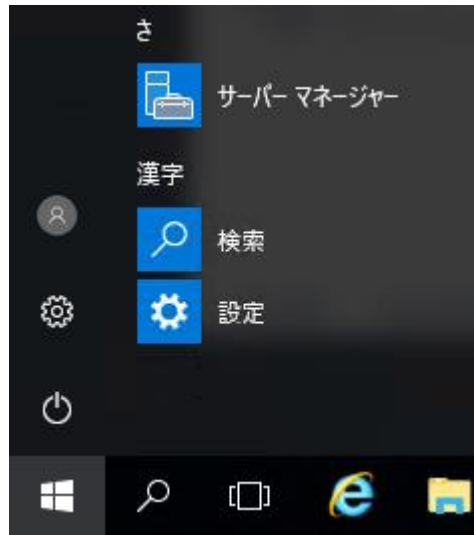
プログラム名	サイズ	使用頻度
Java(TM) 7 Update 4	101.00MB	低
サポート情報を参照するには、ここをクリックしてください。		
コンピュータからこのプログラムを削除するには、[削除] をクリックしてください。		
削除		
LOC-Measure 03-02	5.04MB	
Microsoft .NET Framework 2.0 Service Pack 2	358.00MB	
Microsoft .NET Framework 2.0 Service Pack 2 Language Pack - JPN	11.94MB	
Microsoft .NET Framework 3.0 Service Pack 2	312.00MB	
Microsoft .NET Framework 3.0 Service Pack 2 Language Pack - JPN	18.57MB	
Microsoft .NET Framework 3.5 Language Pack SP1 - 日本語	41.93MB	
Microsoft .NET Framework 3.5 SP1	41.93MB	
Microsoft .NET Framework 4 Client Profile	189.00MB	
Microsoft .NET Framework 4 Extended	46.40MB	
Microsoft Chart Controls for Microsoft .NET Framework 3.5 (KB2500170)	6.92MB	

4 変更来歴

Virtage Navigator インストール手順書の変更来歴を以下に示します。

表 4-1 Virtage Navigator インストール手順書 変更来歴

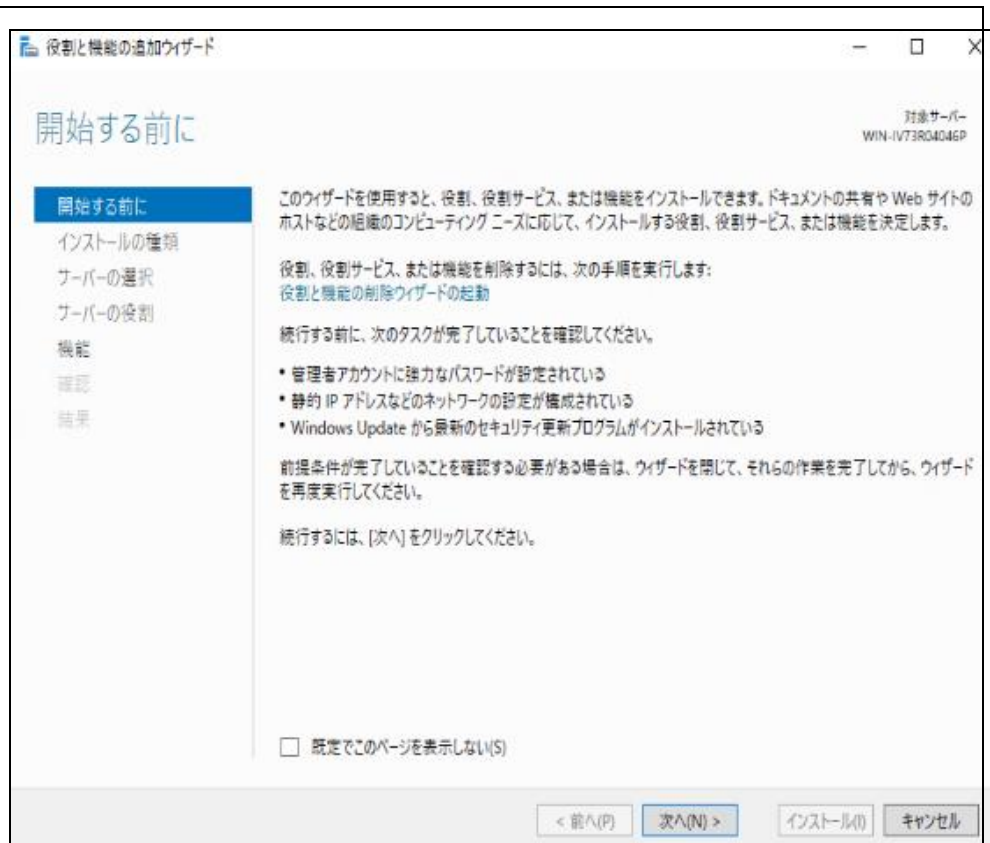
Version	Revision	章	変更内容
V01-00	1.01	—	初版
V01-01	1.10	—	Windows Server 2008 SP2 をサポートしました。
V02-00	2.00	—	Windows 7 をサポートしました。
V02-01	2.10	1	「表 1-1 Virtage Navigator フォルダ構成」を変更しました。
V02-02	2.20	2	JRE(Java Runtime Environment) 6 を x86 版に限定しました。
		2.3	<ul style="list-style-type: none"> ・ JRE(Java Runtime Environment) 6 を x86 版に限定しました。 ・ 環境変数の設定操作を、Windows x64 版をご使用の場合に限定しました。 ・ 環境変数に設定する Path を変更しました。
V02-03	2.30	2	インストール対象の前提アプリケーションを“Plink Release 0.60”から“Plink Release 0.60 または Plink Release0.61”に変更しました。
		2.4	本章のタイトルを“Plink Release 0.60 または Plink Release0.61”に変更しました。
	2.31	2.1	本項の手順の対象 OS を Windows Server 2008 R2、Windows Server 2008 R2 SP1 と表記し直しました。
		2.1	本項の手順の対象 OS を Windows 7、Windows 7 SP1 と表記し直しました。
	3.2	本項の手順の対象 OS を Windows Server 2008、Windows Server 2008 SP2 と表記し直しました。	
	3.3	本項の手順の対象 OS を Windows Server 2008 R2、Windows Server 2008 R2 SP1 と表記し直しました。	
	3.5	本項の手順の対象 OS を Windows 7、Windows 7 SP1 と表記し直しました。	
3.6	(Windows XP または Server 2003 の場合) と表記していた箇所を (Windows XP SP3 または Server 2003 R2 SP2 の場合) と修正しました。		
V02-04	2.40	2	インストール対象の前提アプリケーションを“Plink Release 0.60 または Plink Release0.61”から“ Plink Release 0.62”に変更しました。
		2.4	本章のタイトルを“ Plink Release0.62”に変更しました。
V03-00/A	3.01	2	「表 2-1 前提アプリケーション一覧」で JRE(Java Runtime Environment) 7 に変更しました。
		2.3	JRE(Java Runtime Environment) 7 に変更しました。
		3.2	確認するアプリケーションを追記しました。
		3.3	
		3.6	
3.5	画面を閉じる操作を追記しました。		
V03-00/B	3.02	—	Revision を 3.02 にしました。
V03-00/D	3.04	—	Revision を 3.04 にしました。
V03-00/E	3.05	—	Revision を 3.05 にしました。
V03-01	3.10	—	Revision を 3.10 にしました。
V03-02	3.20	—	「重要なお知らせ」に他社ソフトウェアのインストールについての記載を追加しました。
		1	「表 1-1 Virtage Navigator フォルダ構成」を変更しました。
		2.1	「2.1.1 Windows Server 2016 ・ スタートメニュー → サーバーマネージャーをクリックします。



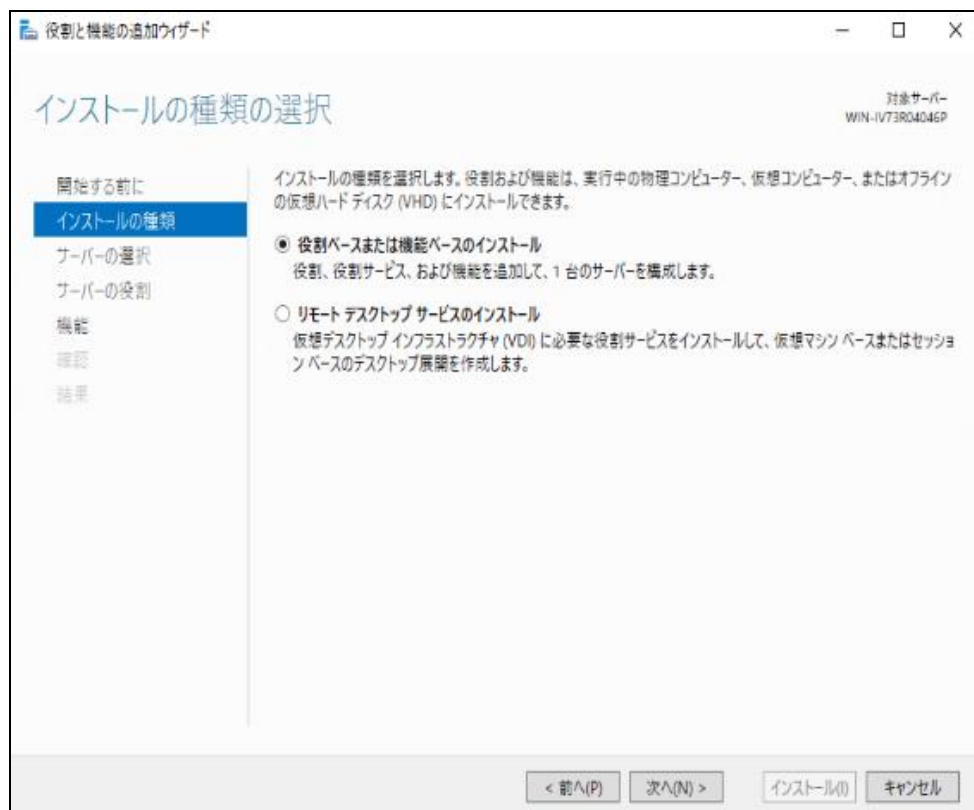
- ・ サーバーマネージャーで、[管理]をクリックし、[役割と機能の追加]を選択して、役割と機能の追加ウィザードを開始します。



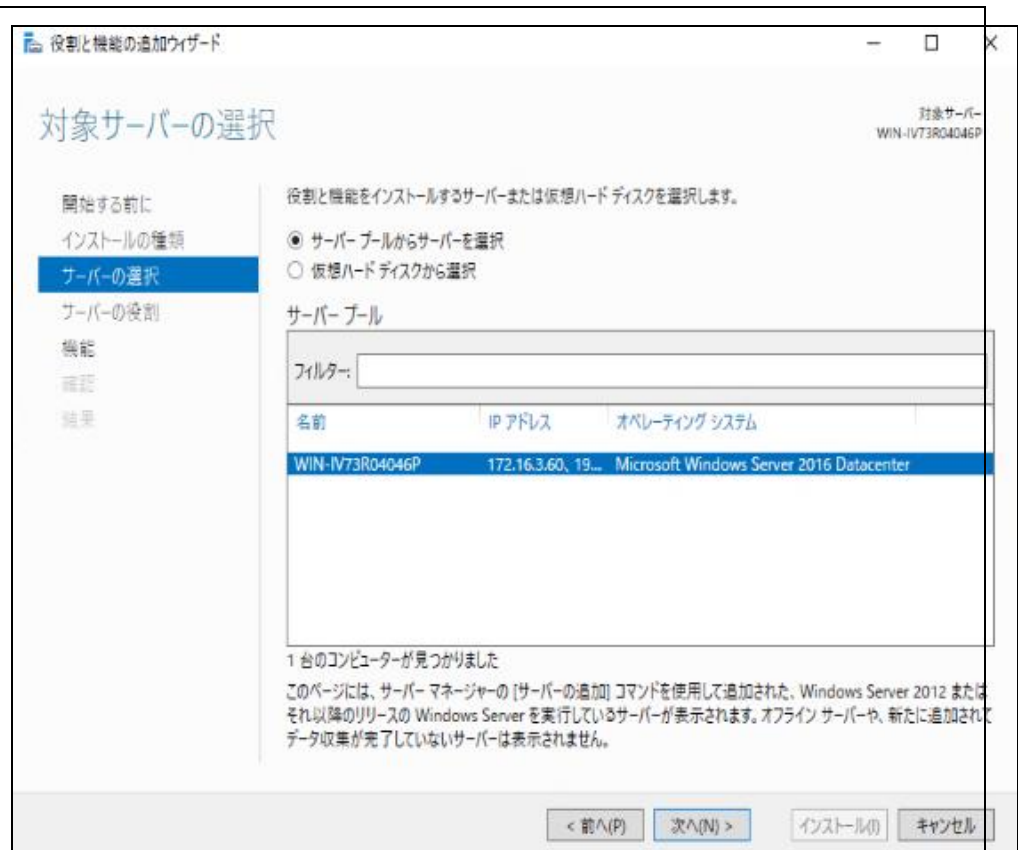
- ・ 役割と機能の追加ウィザード「開始する前に」画面で 次へ(N) をクリックします。



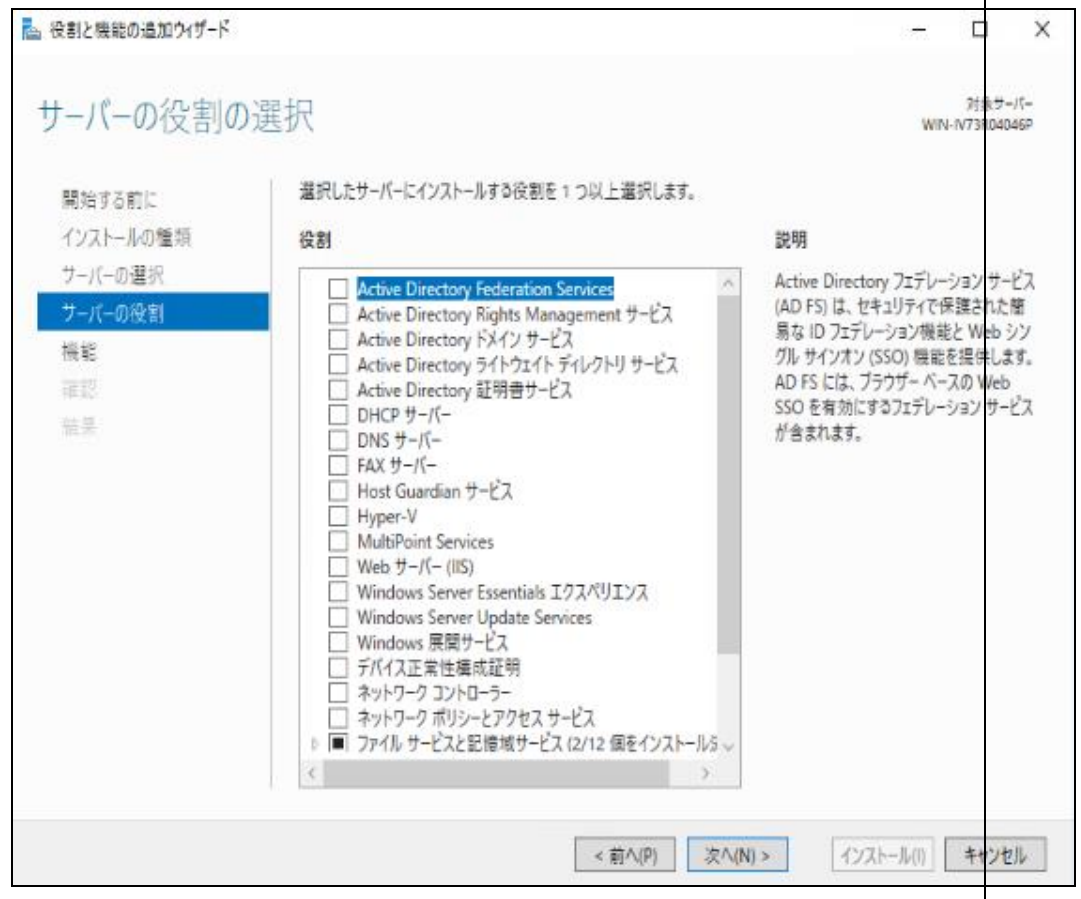
- ・役割と機能の追加ウィザード「インストールの種類を選択」画面で「役割ベースまたは機能ベースのインストール」を選択した後 次へ(N) をクリックします。



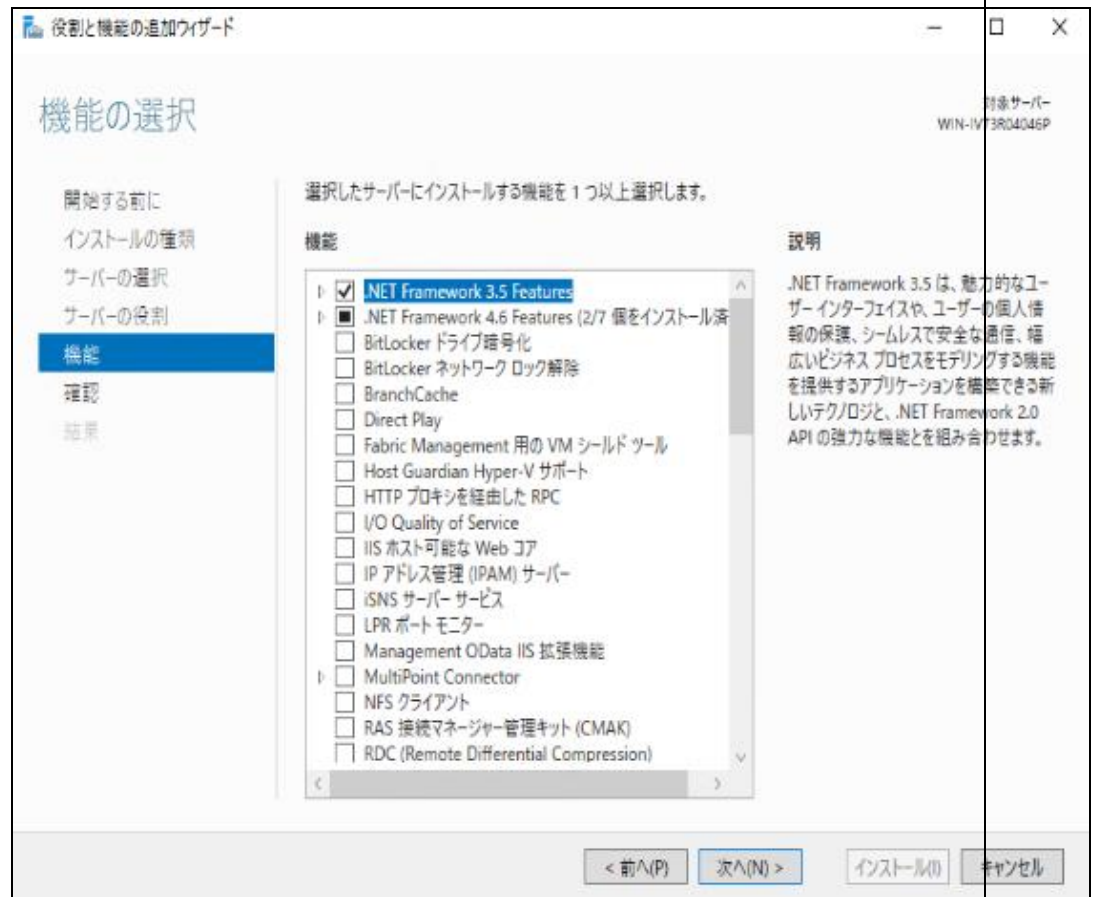
- ・役割と機能の追加ウィザード「対象サーバーの選択」画面でインストール対象サーバーを選択した後 次へ(N) をクリックします。



・ 役割と機能の追加ウィザード「サーバーの役割の選択」画面で何も選ばずに 次へ(N) をクリックします。

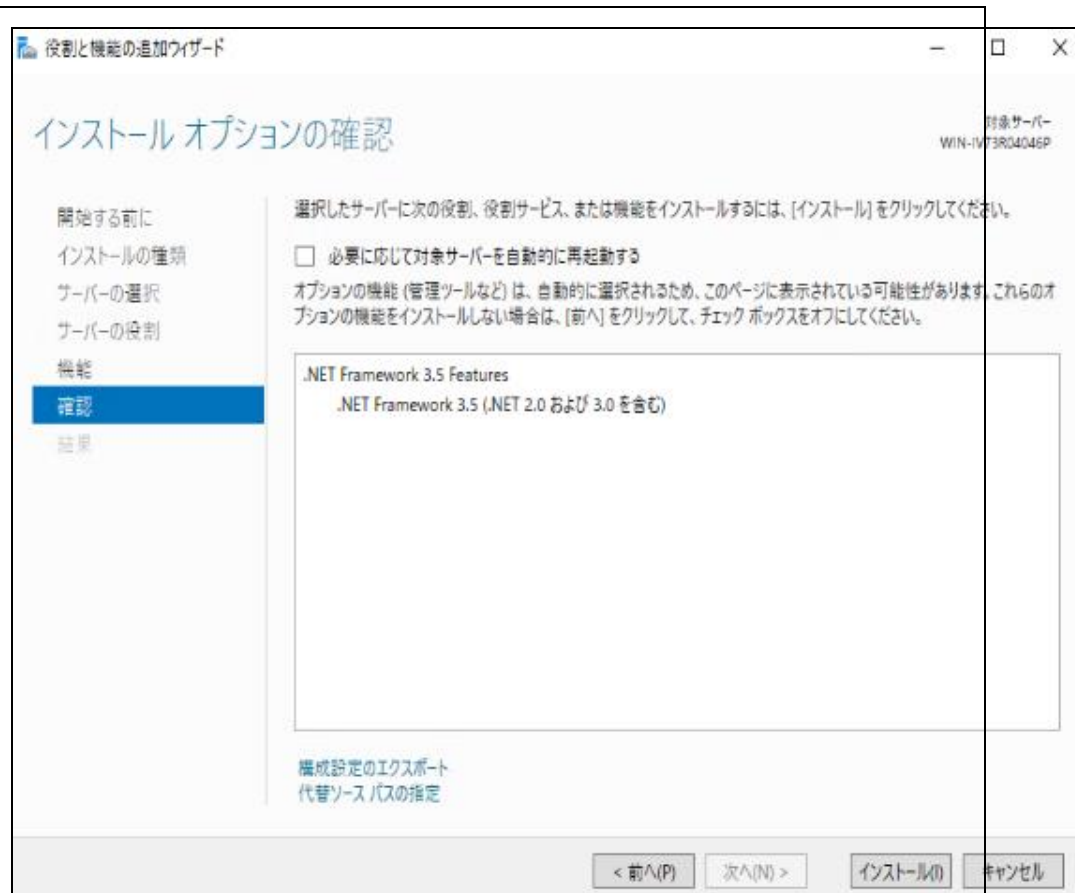


- ・ 役割と機能の追加ウィザード「機能の選択」画面で「.NET Framework 3.5 Features」のチェックボックスにチェックをつけて、次へ(N) をクリックします。



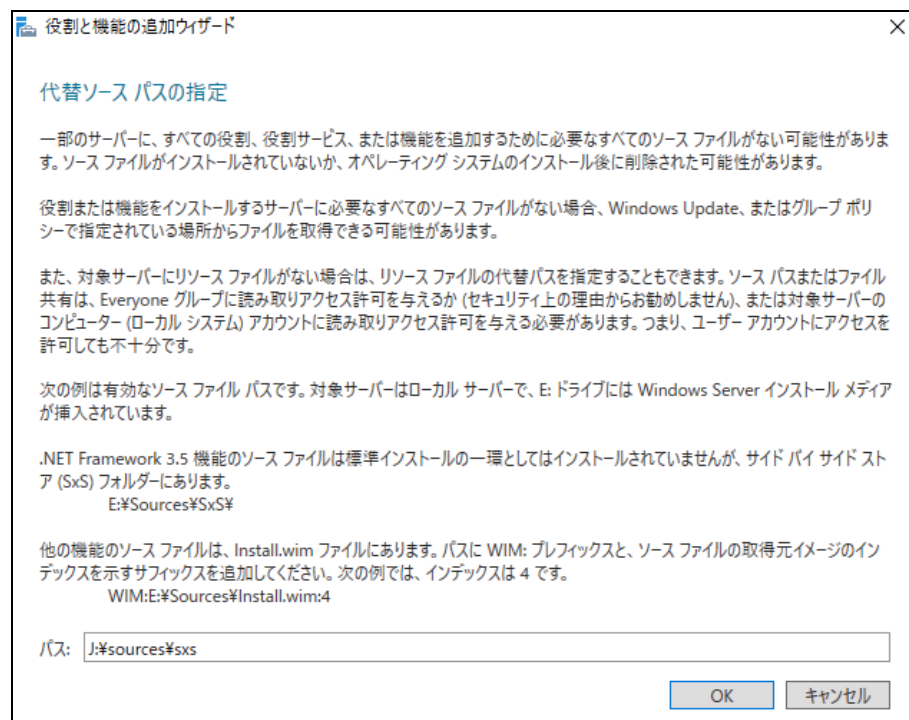
- ・ 役割と機能の追加ウィザード「インストールオプションの確認」画面で インストール (I) をクリックします。

※Windows Update にアクセスできない場合は、「代替ソース パスの指定」をクリックして、インストールメディアの %sources%xsx フォルダーへのパスを指定してください。



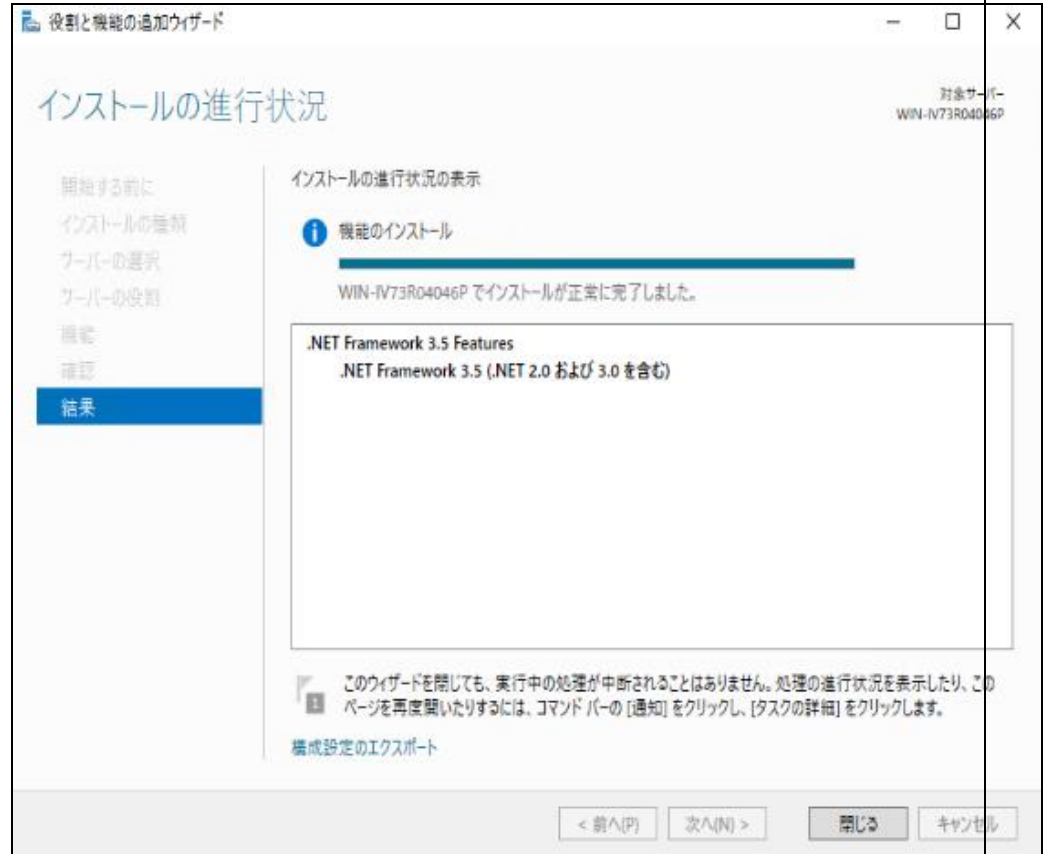
参考) インストールメディアを挿入した CD/DVD ドライブが J ドライブの場合を例としたパスの指定を記載します。

パス: J:¥sources¥sxs



・ 役割と機能の追加ウィザード「インストールの進行状況」画面で正常に完了したことを確認し、

閉じる をクリックします。



Windows Server 2012」と「2.1.4 Windows 8」で、それぞれWindows Server 2012 でのインストール手順と Windows 8 でのインストール手順を追記しました。

3 「3.1 Windows Server 2012」と「3.4 Windows 8」で、それぞれWindows Server 2012 での確認手順と Windows 8 での確認手順を追記しました。

3.20/A

2.1 注意事項の確認月を変更しました。

.1

2.1 注意事項の確認月を変更しました。

.4

Version

Revision

章

変更内容

V03-02/A

3.20/B

2

「表 2-1 前提アプリケーション一覧」に、Windows 64 ビット版を使用して LPAR マイグレーションを行う場合の JRE (Java Runtime Environment) 7 のインストールに関する注意の記載を変更しました。

2

インストール対象の前提アプリケーションを“Plink Release 0.62”から“Plink Release 0.63”に変更しました。

2.1

注意事項の確認月を変更しました。

.1

2.1

注意事項の確認月を変更しました。

.4

2.3

JRE (Java Runtime Environment) 7 のインストールに関する記載を変更しました。

V03-03

3.30

2.1

本章の対象 OS に Windows Server 2012 R2 を追加しました。

.1

2.1

本章の対象 OS に Windows 8.1 を追加しました。

.4

3.1

本章の対象 OS に Windows Server 2012 R2 を追加しました。

3.4

本章の対象 OS に Windows 8.1 を追加しました。

V03-04

3.40

3.6

Windows XP の製品サポート終了に伴い、Windows XP SP3 についての記載を削除しました。

V03-0

3.41

-

Revision を 3.41 にしました。

4/A			
V03-0 5	3.50	-	Revision を 3.50 にしました。
V03-0 6	3.60	-	Revision を 3.60 にしました。
V03-0 7	3.70	2	インストール対象の前提アプリケーションを“Plink Release 0.63”から“Plink Release 0.64”に変更しました。
	3.71	-	Revision を 3.71 にしました。
	3.72	2	インストール対象の前提アプリケーションを“Plink Release 0.64”から“Plink Release 0.66”に変更しました。
	3.73	-	Revision を 3.73 にしました。
V03-0 7/A	3.74	2	インストール対象の前提アプリケーションを“Plink Release 0.66”から“Plink Release 0.67”に変更しました。
		2.3	2.3 節に JRE (Java Runtime Environment) 8 のインストール手順の記載を追加しました。
	3.75	-	Revision を 3.75 にしました。
	3.76	2.1	Windows Server 2016 の手順を追加しました。
		3.1	本章の対象 OS に Windows Server 2016 を追加しました。